

はじめての 超入門

AI中心にBIMやVRを含めた
最新DX手法を紹介

004 【総論】費用対効果は「ツール>人材」が常識の時代に【AI×DX】導入による時短推進で勝ち残る

事例

010 AI+VR[標準化]超活用テクニック
アーキロイド

016 ChatGPT[コンテンツ生成]超入門
ハイウィル

活用の要点を60字で解説

B I Mは細部まで描か
なければ作図時間は短
い。プレゼン時は簡易
図面を作成。コストナ
ビで概算し、受注後に
進行に応じて描き込む

「〇〇を60字で解説」とは？

事例内の項目ごとに、その項目で解説している内容を60字にギュッと凝縮した文章を入れている。その一文を念頭に置きつつ、各事例の最新DX活用手法を読み込み、自社の業務DX化するヒントを得てほしい。



ケンジ

ツキノワグマ 4歳。工務店数社に(勝手に)出入りしている。現場監督兼多能工らしい。性格は好奇心が強く飽きやすい。尊敬する建築家は比賀健二(縄文人)。趣味は睡眠。暖かいとうたた寝、寒くなると冬眠



松太郎

シバイヌ 3歳。なぜか建築全般に詳しい。設計を生業としているようだ。性格は几帳面でマイペース。尊敬する建築家は辰野金吾。趣味は世界の犬小屋の様式や工法の変遷を探ること

AB拡張機能

編集部による
「家づくりのリアル」
解説動画

※本誌発行日に
新建ハウジング公式
YouTubeチャンネル
で公開予定



住宅営業の「DX化」「効率アップ」を実現する **住宅用3次元CAD** をお探しの工務店様へ

イオグランツの

Walk in home



住宅用3次元CAD

はココまで 進化しています!

ぜひ当社に
お任せください!

採択率

99.8%

1/2

のコストで
導入できる

IT導入補助金

2024

をご活用
ください!

お急ぎください! 締切迫る【6次募集締切】2024年8月23日(金)

※採択率:2017年~2024年3次までの実績(過去利用等の特定要件がある場合を除く)



デザインも性能も同時プランニング!



最終利益を意識した連動積算・プランニング!



プレゼンデータをそのまま申請図書に!



ついにここまで来た! 超高精細フォトリアルCGが、業界初のクラウドレンダリングで驚きのスピード処理!

一気通貫で生産性が劇的にUP!

プレゼン、見積り、申請...あらゆる工程で大活躍! 1つのCADデータを全業務で連動できるので、手戻りを削減! スピードUP! 業務効率UPを実現します。

高機能プレゼン	追客	外皮計算	一次エネ
ZEH	耐震等級3	基準法準拠	自動積算

業界初! V-Rayクラウドレンダリング

さらに、「V-Ray for Walk in home」を導入すれば、Walk in homeから直接V-Rayクラウドレンダリングが可能に。ワンクリックで超高速&高精細レンダリングを可能にします。

レンダリングスピード4倍 複数枚同時レンダリング

「IT導入補助金2024」について、製品についてなど、お気軽にお問い合わせください

TEL **06-6120-4007**

受付時間
9:00~20:00
(日・祝を除く)

専用
ハガキ

別添の専用ハガキを
ご利用ください

WEB

イオグランツ

<https://eog.co.jp/>

創業22年・数々の受賞実績が「信頼」を証明!



株式会社イオグランツ

本社:大阪市中央区久太郎町3-1-29 本町武田ビル9階
名古屋支店:名古屋市中区錦2-18-5 白川第6ビル3階
埼玉支店:さいたま市浦和区仲町1-12-1 カタヤマビル4階



いい家には
いい窓がついている

高性能樹脂窓

APW[®]

快適な暮らし、樹脂窓で

高性能トリプルガラス樹脂窓
APW[®] 430

熱貫流率
0.90
W/(m²·K)

高性能樹脂窓
APW[®] 330

熱貫流率
1.31
W/(m²·K)



費用対効果は「ツール>人材」が常識の時代に

[AI×DX] 導入による時短推進で勝ち残る

国際的な競争力を失った日本では不況はまだまだ続く。そして少子高齢化による人材難も進行する。八方塞がりのなかで工務店が生き抜くための手段が[AI×DX]。ケンジと松太郎がいつになくシリアスに語る。

挿絵：DALL-E3 文：大菅 力

構造的な不況はまだまだ続くな



ケンジ

ケンジ 相変わらず不況だな。インフレ&低賃金のスタグフレーションで日本経済にはまったく光が見えないな

松太郎 これは構造的なものだからね。政策的に競争を避け、市場原理を弱めて技術革新を抑え、生産性を低く保っているんだから仕方ないよね

ケンジ 皮肉な言い方だけど、事実ではあるよな

松太郎 政府の経済政策で業績の悪い中小企業にも税金という名の冷水をじゃぶじゃぶ注入しているからね。本来、釜茹でになって死んでいるはずのゾンビ企業が大量に生き延びている



スタグフレーションで注文住宅市場は半減



ケンジ 日本の社会は修正社会主義システムとでも言うべき、競争と成長を排除した世界のどこにも例のない仕組みだよな。潰れるべき企業まで潰さないんだから

松太郎 そんな特殊な国で、企業として成長を目指すのは難しい。業績のよい国内企業はほぼ国際市場で戦うグローバル企業というのは当然の帰結だよ

ケンジ それは住宅市場を見ても同じだな。特に一部の新築住宅には住宅価格の1割にも上る補助金が投入されている

松太郎 何もしなくて10%も売り上げが増える市場で技術革新や生産性の向上など期待できるわけがないよね

ケンジ それはもっともだ。その一方で国際競争は当たり前市場原理に基づいて行われる。国単位で見た場合、この国の先進国最強の低生産性が発揮されて国際市場では負け戦に次ぐ負け戦。国内の景気は今後もさらに悪化していくだろうな

松太郎



「時短していただく」のが大前提の時代だね

松太郎 それにしてもこの不況は根深い。税金という名の冷水注入で「いい湯加減」に保たれていた国内市場においても、さすがにゾンビ企業が生存可能なお湯の温度を超えはじめていますよ

ケンジ 茹でガエルの大量死が起こる時期が近づいているわけだな。この競争なきぬるま湯地獄での大量死から逃れるにはどうすればいいのかな

松太郎 自助努力で生産性を高めるしかない。しかしそれもなかなか難しい。競争なき市場において労働者の勤労意欲は上がらない。デカダンスに浸る態度が基本になるからね

ケンジ 簡単に言うと現実逃避だね。労働者はまったりと働き、小さな日々の喜びに最大の価値を見出す。ボトムアップで経営が改善されることは期待できない状況だよな

松太郎 それは絶対に無理だね。この国において個々の企業が競争力を高める原資は、もはや経営者の意志しかない。それが現状だろうね

ケンジ 泣きたくなるな。とはいえ経営者に強い変革の意志があっても、社員が動かないと現実にはいかんともし難いよな。どうやれば社員が動くのかな。給料を上げるとか？



バリバリ働く時代じゃないよな



- 松太郎** 君もこの国の修正社会主義に毒されているね。野生が失われているぞ。給料をベースアップしてもせいぜいベースアップ分しか余計に働かないよ。それでは生産性は変わらない
- ケンジ** 確かにそうだよな。「まったり社員」を動かすにはどうしたらいいんだろうな
- 松太郎** 方法は1つだけだね。時短だよ
- ケンジ** 確かにな。残業が減って家でまったりできる時間が増えるなら、経営者の提案に乗ってやらんこともないよな
- 松太郎** それぞれ。「乗ってやらんこともない」って奴だ
- ケンジ** なんだよ。人(クマ)の発言を繰り返したりして
- 松太郎** 今の若手社員のメンタリティーってこんな感じだと思ったんだよ。どこか上司や会社に対して「上から」接している
- ケンジ** 「働いてやってる」っていう感覚があるんだろうな。特に若手は売り手市場だからな、理解できなくもないな
- 松太郎** となると経営者が時短に取り組む場合、社員に対しては「やっていただく」というという姿勢が必要になるわけだな
- ケンジ** なるほどな。「時短していただく」という態度がこの国における生産性向上の唯一の方法なんだな。確かに若手は「時短してあげたくない」と感じたら秒で会社を辞めるだろうからな

DXは「まったり社員」と相性ばっちりだな



- 松太郎** 「時短していただく」が基本だとすると、具体的にやることは決まってくるね
- ケンジ** 「いただく」わけだから、ストレスのかからない方法が前提となるよな
- 松太郎** その通り。それは何かというとズバリ「DX」だ
- ケンジ** その答えは最初からわかってたけどな
- 松太郎** なんで予想がついたんだ？
- ケンジ** 今回の特集テーマだからな。答えはそれしかないだろう
- 松太郎** …身も蓋もないな。じゃあこの話は終わりでもいいか。後は特集記事を読んでもらおう
- ケンジ** そういじけるなって。とりあえず話を戻すと「時短していただく」場合、なんで答えはDXになるんだ？
- 松太郎** 理由は3つある。1つ目は**DXはツールを使えば確実に成果が上がる**からだ
- ケンジ** その真偽は後で検証するとして、まずは先に話を進めよう。もう1つは何だ？
- 松太郎** **DXツールの活用は新しいことを覚える必要がそれほどない**ことだ。覚えるのはツールの操作方法だけだ
- ケンジ** 新しい仕事を覚えることと比べると、圧倒的に簡単だな。3つ目は？
- 松太郎** **DXツールはほとんどがデジタルツールなので在宅ワークに向く**ことだ
- ケンジ** なるほどな。じゃあ1つずつ検証しよう。最初のDXツール導入により成果が上がりやすいってことだけど、その理由は何なんだ
- 松太郎** 簡単に言えばお金で解決できるということだ。DXツールは有償の商品なので、最初から仕組み化されていて、操作性もよい。サポートも受けられる。誰でも使えるから導入した分の成果は得られる
- ケンジ** お金で解決か。今の時代は新規雇用は難しいからそれが大事だね。**優秀な人材は中小工務店にはほぼ来ない。そう考えるとDXツールにお金を払うのは費用対効果が高い**な
- 松太郎** 次の新しいことを覚えなくていいというのはもう説明したね。DXツールは有償の分、操作性がいい。スマホネイティブの若手だと触っているうちに使えるようになる
- ケンジ** 3つ目の在宅ワークに適しているっていうのはどうなんだ
- 松太郎** **DXの基本は情報共有とあらゆる業務のテンプレート化によるコピペの推進**。DXツールを活用する目的はそのどちらかだ。それを実現する前提として、**あらゆる情報がデジタル化されていることが条件**になる。デジタル化されていればその情報はクラウドサーバーに保存できる。当然、どこでも仕事ができる
- ケンジ** なるほどな。DX推進は「まったり社員」との相性もばっちりなんだな。**社員を1人雇うつもりの金額をかければ、営業から設計、現場まで広範囲をDX化できそう**だ
- 松太郎** そうなんだよ。今は求人難だからよい人材は得難い。それよりはお金を払った分の成果が見えやすいDXツールに投資したほうが合理的だ



AIの考えた「人材よりDXツールに投資しろ」

人材よりDXツールに投資するほうが手堅い





費用対効果は「ツール>人」なのは当たり前だよ

- ケンジ** 確かにお金を出すだけなら経営者の意思でなんとかなるからな。ところで「**まったり社員と相性のいいDXツールへの投資**」が「**時短していただく**」手法として**最適**なのはわかったけど、肝心の時短の中身はどう考えればいいわけ？
- 松太郎** そこは会社の規模や組織、社員の業務分担によって変わってくる。とはいえ**大きなゴールは同じだ。①全情報のデジタル化、②全情報の共有化、③全情報のテンプレート化(コピペ化)、④全就業時間のデスクワーク化、になる**
- ケンジ** 取り組む順番もその数字順になりそうだな
- 松太郎** 大まかにはそう考えていい。**各分野で①～④が未達成の業務をピックアップしてDXツールでそれを埋めれば**いい
- ケンジ** ツール側から見ると、必要なものは決まってくるな
- 松太郎** フルスペックで考えたら大体同じだね。①はCADやBIM、各種計算ソフト、見積もりソフト、officeやドローソフト、スマホやタブレット、②はクラウドストレージとWiFi、③は①によるデータ整理、④は①～③の徹底に加えて施工管理ツール活用となる
- ケンジ** 個々のツールとしては当たり前のものばかりだね
- 松太郎** 後はそれを人数分持たせたり、ソフトにオプションを付けたり、類似のツールでも業務のちょっとした違いを生かすために複数導入するなど、より効率化を図ることだね
- ケンジ** 今の時代はよりツールにお金をかけるべきなんだな。「**時短していただく**」ことが前提だと、**費用対効果は「ツール>人」になるのは当たり前**だもんな



AIの普及で能力の高い人材が重用されるのか

- 松太郎** お金をかけると言えば、1つ言い忘れていた。これから費用をかけるべきツールがある
- ケンジ** 分かってるよ。「AI」だろ。それも特集タイトルに入っているからな
- 松太郎** …本当に身も蓋もないな。でも答えはその通りだ。**AIは少し前まではおもちゃだったが、最近になって性能が格段に上がった**
- ケンジ** AIはさっきの①～④のどの分野に関係あるんだ
- 松太郎** すべてだね。ざっくり言うと人間が考えたり、手を動かすことはすべてAIが代替できるようになる。それどころか作業によっては人間の能力の1万倍程度ある
- ケンジ** 1万倍は凄いな。中小企業かマンパワー的には瞬時に大企業になれるということか
- 松太郎** まあ得意な一部の作業を取り出せば…ということだけだね。でも得意な作業の効率化はこれまでのDXツールの比じゃない。半端ないポテンシャルを持っている
- ケンジ** AIの話になったらやたら熱いね
- 松太郎** それだけ可能性が高い技術ということだ。前述した①～④で、人間の手作業として残る部分もAIは埋められるし、DXと組み合わせることでその効率もさらに高まるんだ。もっと言えばその能力は急速に進化していつている
- ケンジ** AIは使わない手はない、というよりどんどん投資すべきということだな
- 松太郎** その通りだ。**AIは人間の作業の多くを代替できて、しかも「時短していただく」のではなく「時短しろ」というスタンスで使える。それどころか「休みなく働け」と命令することもできる**
- ケンジ** なるほどな。現在の「時短していただく」時代においては、**費用対効果として「DX>人間」だったけど、今後は「AI>DX>人間」になっていく**わけか。人間の存在価値が軽くなっていくね
- 松太郎** それは逆だ。今までこの業界は未熟練者を使い捨てにしすぎだったんだ。「AI×DX」が当たり前になると、人間が手がけるのは高度な仕事だけになる。きちんとした技能がある人間が重用されて活躍できるようになるよ
- ケンジ** そうなれば「**時短していただく**」方々はまとめてお引き取り願えばいいわけだな。AIの進化で働き方はまだまだ変わっていきそうだな
- 松太郎** とりあえず今回の特集で紹介しているAIの活用方法に関しては、すぐにでも手を付けるべきだろうね



AIの普及で人材重視になるだろうね





詳細はこちら

+ タイムスタンプ不要

+ かんたん操作

住宅会社に

電子受発注

をプラス+

使いやすい
価格も安い!



NEW

住宅会社向け電子受発注システム

受発注 Plus



株式会社 **ダイテック**

〒140-0013

東京都品川区南大井6-16-19 大森 MHビル4F

☎ 03-5762-8660

“ANDPAD”で業務フローを見える化

生産性向上しながら受注数を増加へ

スタジオ・チッタ(千葉県千葉市)は、千葉県と沖縄県で新築事業を中心に展開するビルダー。注文住宅と分譲住宅合わせて、年間受注棟数は約70~80棟まで拡大してきた。直近では、増加傾向にある顧客データ管理のために「ANDPAD」を導入。社内の業務フローを整理し、業務を効率化しながら、年間100棟への飛躍を目指す。



最新情報は ANDPAD で確認することで担当者の認識ずれが発生しない

スタジオ・チッタが「ANDPAD」を導入したのは2018年。それまで、案件ごとの図面や施工写真などのデータは、担当者が個人のフォルダに入れて管理している状態だった。「都度担当者へ聞かないと、使いたいデータがどこ

にあるのかわからなかった」と、設計部設計推進課の大塚広平さんは当時を振り返る。導入を機に、ANDPADへアップロードする図面や写真に対して具体的なルールを設けた。施工写真でいえば、どの工程で撮影・保存するかのチェックリストを作成し、誰でも同じクオリティ、タイミングで施工写真が撮影できる状態にした。設計部の松本健太さんは「ANDPADにデータが蓄積されるようになり、出先で急な変更があってもスマホやタブレットで最新情報の確認ができる」と説明する。また、「会社に戻る手間もなくなり、時間を効



執行役員 設計部 ディレクター 松本健太さん

率よく使えるようになった」と語る。

営業から設計、工務、経理の流れをフローに落とし込んで一元管理へ

さらに同社では、23年に「ANDPAD 引合粗利管理」、「ANDPAD 受発注」



設計部 設計推進課 課長 大塚広平さん

この会社に聞きました!

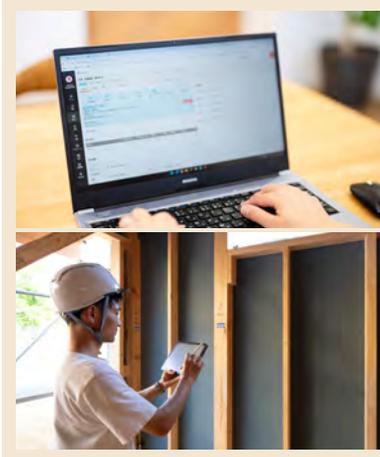
Studio Citta

魅力ある暮らしづくり

スタジオ・チッタは1986年創業。千葉市に本社を置き、市原市、市川市、佐倉市と営業拠点を3カ所、沖縄県に1カ所の支店を構えている。デザイン性に優れた家づくりに定評がある同社では、住宅性能も担保。断熱性能はG1グレードを標準とし、UA値0.56W/m²K、C値0.5cm²/m²が平均。耐震等級3、長期優良住宅も標準仕様とする。注文住宅の年間棟数は50棟前後。 <https://studio-citta.com/>



導入のキーマンとなった4名にお伺いしました



スタジオ・チッタが評価する「ANDPAD」活用ポイント

1. 現場のチェックリスト作成や一連業務のフロー化およびデジタル化ができ、業務整理に取り組めた
2. 現場資料をデータ化、外出中でもスマホやタブレットで確認が可能に資料確認のために会社と現場を往復する時間を大きく削減
3. 顧客情報を集約、社内の部署全てに共有することで二重入力の手間を削減最新データを活用しながら、効率よく業務を推進できるように
4. 共有するデータを一元管理することで業務の進捗やお施主様の最新情報などを把握しやすくなった



営業部 営業推進課 課長代理 藤川記さん

を導入。営業部営業推進課の藤川記さんと、管理部経理課の保立希さんが旗振り役を務めた。導入前の課題として顧客情報の管理が煩雑になっていたとのこと。例えば営業が、商談しているお施主様の情報を設計や工務へ共有する際、紙にプリントして渡し、各部署で都度 Excel などに手入力していたそうだ。「作業は重複するし、各部署で必要な項目が異なるので、データ集計の際、ひとつにまとめるのに手間がかかり困っていた」と藤川さんは話す。

一方、保立さんが所属する経理課では、膨大な紙の請求書や発注書について、1件ずつ金額の正誤をチェック。ずれがあれば担当者に問い合わせして修正、という作業を繰り返していたため、業務が繁忙していた。保立さんは「都度、受発注の根拠となる書類を社内から

探し回ったり、書類の数値を修正するために紙を切り貼りしたり。経理業務以外の作業が多かった」と振り返る。

社内で生産性を高めるために模索した2人は、「ANDPAD」を使った業務フローの整理に取り組んだ。設計部の松本さんと大塚さんと連携しながら、営業から設計、工務、経理の一連の流れをANDPADへ落とし込み、顧客情報や発注書類を含む情報の一元管理を目指した。「業務フローの作成に関しては、アンドパッドのサポートが本当に助かりました。会社として変えられない流れと、効率化できる部分を汲み取って、柔軟に対応してくれました」と藤川さんは話す。

目標の年間100棟に向けて

業務フローの整理を経て、必要な情報がANDPADに集約されるようになった同社では、まずお施主様との最初の接点となる営業部で、必要な項目を入力し社内に共有する。設計と工務では、お施主様との打ち合わせの内容や図面をANDPADに記録。業務フローにおける入力と更新を適切に繰り返していくことで、経理では社内から



管理部 経理課 課長代理 保立希さん

上がってきた受発注の書類を金額だけ確認すれば問題ない状態まで改善した。

営業部では週に一度、藤川さんがデータの入力状況をチェックし、会議前に未入力のデータがあれば担当者に入力を促している。全てのデータが揃った状態で会議が進行できるようになり、進捗状況の報告もスムーズに。きめの細かい営業活動ができるようになった。

4人のキーマンが各部署の課題の解決に向けて尽力した結果、社内で「ANDPAD」が活用されるようになり、業務の改善も大きく進んだ。「年間受注棟数が100棟ペースでも業務が回るようにさらに生産性を高めていきたい」と松本さん。情報の一元管理による善循環が形に表れており、目標を超える日が近づいてきているのは間違いなさそうだ。

現場の効率化から経営の一元管理までDX戦略をワンプラットフォームで

ANDPAD

導入企業数
6年連続シェア
No.1
利用社数
18万社
ユーザー数
47万人



DXのお役立ち資料を無料でプレゼント!

建築・建設業界に特化したクラウド型建設プロジェクト管理サービス「ANDPAD」。業種や工種、事業形態や課題に合わせて最適なDXをご提案します。



資料のダウンロードはこちら



株式会社アンドパッド

☎ 03-6831-4551 ✉ info@andpad.jp 🕒 営業時間 平日10:00~19:00

※「建設業マネジメントクラウドサービス市場の動向とベンダシェア(ミックITレポート2023年10月号)」(デロイトトーマツミック経済研究所調べ)

03

AI + VR

つくり手が持つノウハウを形式知化する AI+VR [標準化] 超活用テクニック

アーキロイド

アルゴリズムックデザイン^{*1}を用いたAI自動設計などのシステム研究開発や工務店支援を行うアーキロイド。同社が提供するデジタル標準化住宅[®]プラットフォーム「archiroid.com」^{*2}の活用手法や、現在進行中のデジタル家づくりプロジェクト「福井典子の家 | アーキロイド #01」について、同社代表取締役 CEO・佐々木雅宏氏と建築家・福井典子氏に話を聞いた。

archiroid.comで
できることはコレ

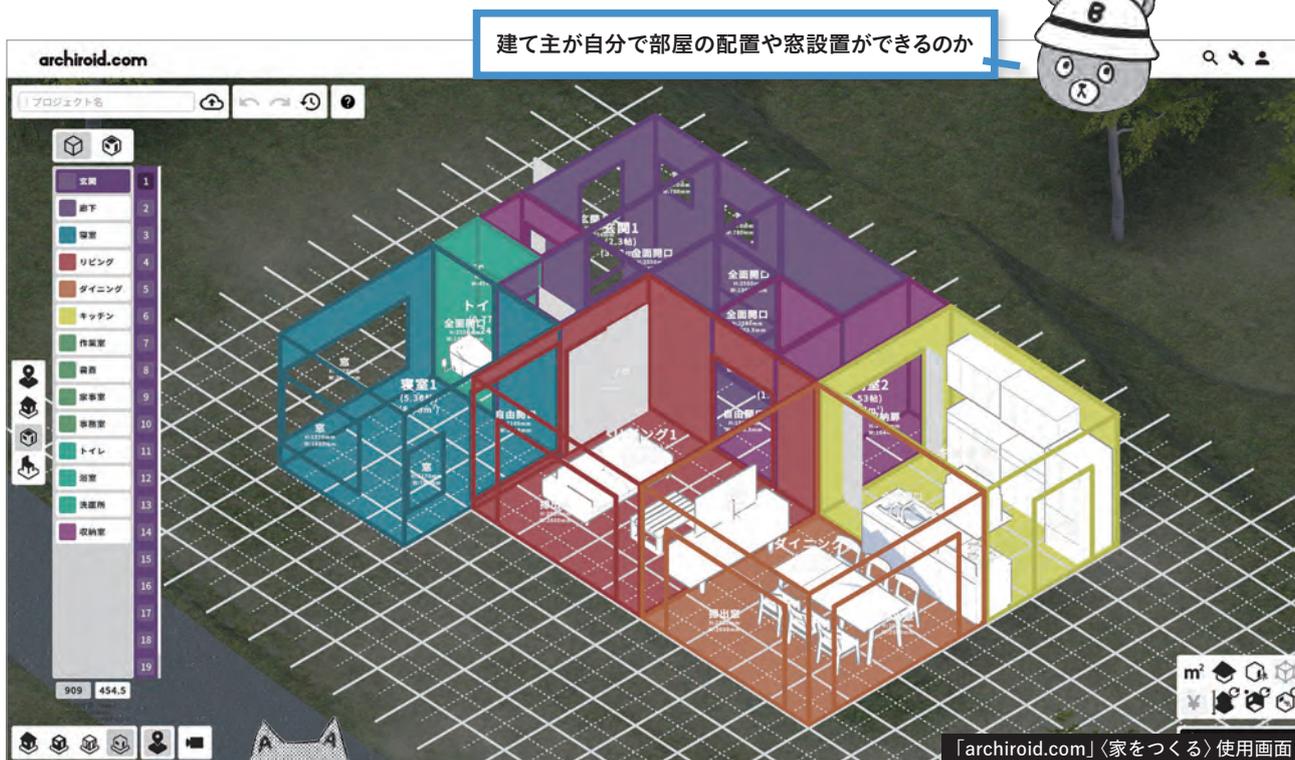
ウェブサイト上の
3Dデータを用いて
建て主自身の手で
住宅を自動設計



建て主が設計できる理由を60字で解説

建て主たちが同システムで設計した情報をデータとして蓄積。ユーザーみずから評価・改良を繰り返すことで誰でも設計できるように

20
40
60



建て主が自分で部屋の配置や窓設置ができるのか

「archiroid.com」〈家をつくる〉使用画面



直感的にクリックやドラッグで操作できるから簡単だね

実際の使い方はコレ

- 建て主（ユーザー）自身が archiroid.com にパソコンからログインすることで、自分の手でプランを作成できる
- 作成された各種データは同サイト上で順次公開。他ユーザーが作成したプランの検索やVR内覧、カスタマイズも可能
- 延べ床面積や価格なども自動算出されるため、建っていない住宅でも、不動産ポータルサイトのように比較・検討できる

^{*1} アルゴリズムックデザイン…あらかじめ設定したアルゴリズム（問題を解くための手順）に基づいてデザイン・形状を生成する手法の総称
^{*2} デジタル標準化住宅[®]プラットフォーム…完全性・一貫性のあるデータ（データインテグリティ）を作成できる自動設計技術（archiroid）をβ版として一般公開しているウェブサイト

archiroid.com 〈家をつくる〉



〈家をつくる〉で内外装を仕上げた状態を確認している様子。椅子やベッドなどのインテリアもクリックのみで簡単に設置できる。このほか躯体のみや屋根をかけた状態も確認可能

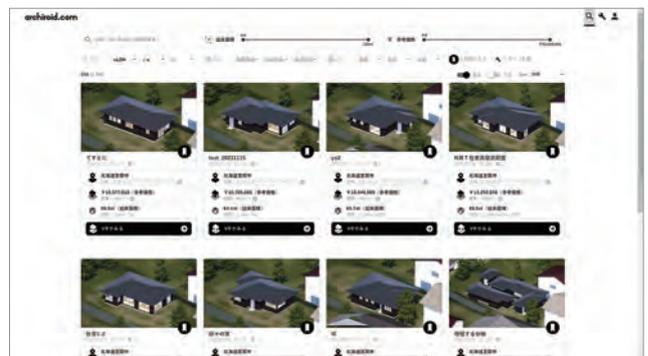


〈家をつくる〉でVR内覧を使用している様子。自分が作成したプランの空間構成をすぐに確認できる。システム上に変更履歴を残してあるため「〇時〇分の状態に戻す」といった作業も容易

archiroid.com 〈家をさがす〉



〈家をつくる〉で高さを検討している様子。敷地形状や用途地域などの情報を入力することで、高さ制限をビジュアルで見ながら建物形状を検討できる。斜線制限や換気・採光なども確認可能



〈家をさがす〉の使用イメージ。他ユーザーが作成・公開したプランを検索・閲覧でき、そのプランを〈家をつくる〉を用いてカスタマイズすることも可能。現在検索できる条件は「延べ床面積」「参考価格」「間取り(居室)」の3つだが、今後は耐震等級や土地形状なども実装予定。ウェブサイト上で建て主自身が各データの良し悪しを比較し、改善・改良を繰り返すことで、AI側ではなく人間側が成長し、一般人でも“プロアマチュア建築家”になれる

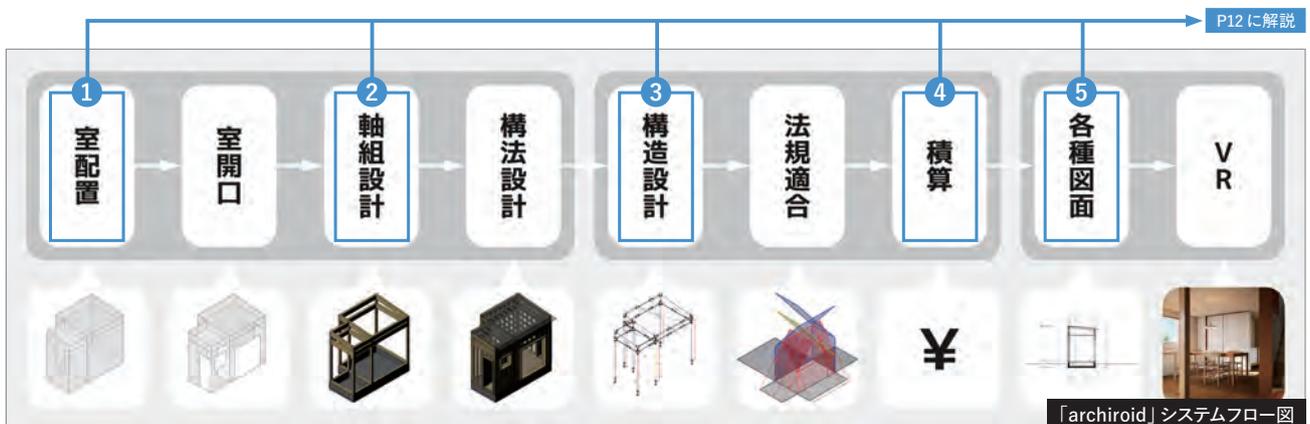
工務店が自動設計を導入する利点はコレ

明文化していない設計・施工の知恵を綿密な聞き取り調査を通じて標準化できる

自動設計の成果を60字で解説

図面には表れない納まりを3D上にミリ単位で表現し、建築技術者が持つ知識や経験（暗黙知）を形式知化。各工程の情報をつなげる

P12へ



「archiroid」システムフロー図



archiroid に自社の標準仕様や納まりを組み込むとかなり使いそう

設計施工の情報がシームレスにつながって生産効率が高まるよ



archiroid 開発の背景はコレ

- 住宅業界でのBIM普及率は低く、実施レベルでの利用は1%以下。そのため設計と施工の情報は分断されたまま。現場の阿吽の呼吸で意図したかたちに近づけているのが実情
- 導入が進まない理由には「時間がかかる」「操作性が悪い」など。そこで**完全データを簡単に扱うことができ、設計と施工の情報を相互に生かせるシステム**を考案
- 現在は自社の標準化された設計情報を持っており、かつ情報公開に理解のある工務店とともに、実験・開発を進めている段階

P11より

P11より

archiroid でできること

①室配置

一般的なBIMより細かい、3次元でつくるそのままの自社の仕様をデータに反映。特に面と面がぶつかって「点」になっている部分の仕上がりが重要。「逃げ」や「なり」といった数ミリ単位の概念も翻訳し、プログラミングする

②軸組設計

現在対応している工法は在来木造軸組工法(金物工法)のみ。柱や梁の入れ方から壁の構成に至るまで各社で仕様異なるため、細かくプログラミングしていく

③構造設計

設計対応項目は、全工程では8割ほど、許容応力度計算では6割ほど対応している。今年中には全項目に対応できるよう開発を進めているところ

④積算

積算に強いのも同システムの特徴。全ての材料情報を3次元で表記しているため、巾木の形状なども算出でき、自社の単価表と掛け合わせることで正確な積算ができる

⑤各種図面

3Dデータで作成しているが、最終的にはCEDXM形式で吐き出せるため、プレカットデータにも対応できる

「福井典子の家」の革新性はコレ

archiroidシステム開発におけるデジタル標準化住宅®第1号

開発の趣旨を60字で解説

自分たちが提供したい家を
ベースに、完全VR商談や
自動設計を実装し、設計施
工をシームレスにつなぐシ
ステムを構築すべく開発中



周りの景色がやけにリアルだな。角度も変わるぞ



「福井典子の家 | アーキロイド #01」VR外観イメージ

中景の3Dモデルは、敷地で撮影した動画をAIに読み込ませて生成したものだ



取り組みの背景はコレ

- 完全データシステムの構築に向けた実験プロジェクト。前述の工務店の標準化に向けたシステム開発とは別に、同社独自で設計事務所として実物件に関わりながら開発を進めている
- 完全データシステムを構築する上で必要な検討や、**工務店が同システムを利用する際の営業から設計、施工の情報共有化を検証**している段階
- ゆくゆくは、#2、#3...と、作風が自動的に反映される設計システムを展開予定。archiroid.comでも利用できるようにする

■「福井典子の家 | アーキロイド #01」にみる 同システムを活用した場合の商談・設計の流れ

1 まずは建て主にVR体験をしてもらう

●VRゴーグルとコントローラーを装着してもらい、建て主自身がモデルプランのVRを体験



「福井典子の家」庭側から見たVR外観。同住宅は実際には建っていない



リビングから庭側を見る。窓からの景色がどう見えるか、遠景までよくわかる



リビングからスタディスペースを見る。日の入り方がよくわかる



窓まわりを拡大して見る。1mm単位でモデリングしているため、実際の施工と寸分違わない細部のディテール表現が可能に

2 敷地を動画などで撮影し、3Dモデルで再現 (動画撮影時間：約15分)

- ・スキャン技術ごとに3D化する対象の得手不得手があるため、組み合わせて使用
- ・周りの建物も生成できるため、時間ごとの日の当たり具合もシステム設計で計算可能。また窓から見える景色 (隣家が近すぎないか) など確認できる

実際の敷地で360度カメラを用いて動画撮影をしている様子



〈近景〉地面に近い部分は精度が求められるため、iPhoneのLiDARスキャナーでスキャン。これをもとに現況土量を算出することも可能



〈中景〉3D ガウシアン・スプラッティング^{※3}で敷地の外側 (隣地の建築など) をメインに敷地内から撮影



〈遠景〉敷地からの撮影が難しい遠くの山などはGoogle Earthをつなぎ合わせて使用。精度は近景・中景に比べて高くないが、遠景のイメージとしては十分 (※利用条件あり)



「福井典子の家」の3Dモデルを配置したイメージ

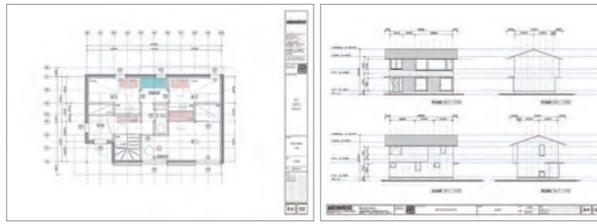
3 手描きで間取りを検討 (従来通りの手法)

- ・建て主からの希望や敷地を踏まえ、プランを読み解いていく



福井氏が実際に手を動かしてスタディしている様子。ここが本来は一番時間をかけたいフェーズ。ここに時間を割けるよう、VRを活用していくイメージ

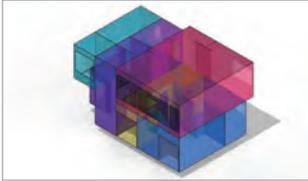
4 プラン承認後、従来通りCADで基本設計を行う (5で述べるボックスと面を立ち上げるベースとなる図面となる)



福井氏が実際にCADソフトを用いて作成した図面イメージ。これを用いてボックスと面のモデルを手動で立ち上げていく

5 4の図面データを archiroid に読み込ませ、住宅を3Dモデル化 (所要時間：2～3時間)

- ・3D化にはボックスの情報 (3次元) と、ボックス同士が取り合う面の情報 (2次元) が必要。同システムでは事前に学習させた archiroid により、2次元の図面情報から下図のように各部のボックスと面の情報が自動的に生成される
 - 学習が完了している部分は10秒ほどで立ち上げが可能 → 納まりや標準仕様などは事前に学習させておく
- ・2階建ての場合、階段の位置は人力で調整が必要だが、3Dモデルは5分ほどで立ち上がる
 - 基本設計の図面からVRを立ち上げるまでは2～3時間でできる



ベースとなるボックスと面のモデリング (左) と、完成した建築モデル (右)



同じ画角の内観で比較。モデリング画像 (左) と完成した建築モデルの画像 (右)



6 ファーストプレゼンで再度VR体験を実施

- ・建て主の承認を得たプランを3Dモデル化した空間をVRで体験
- ・Googleを用いたVR体験には、ゲーミングPC程度のスペックが必要。CPUやグラフィックボードの性能は高いほどよいが、コマ1秒を争うレベルではないため、15万円ほどのPCで十分。なお起動や接続にも準備が必要のため、現時点では貸し出しは考えていない



実際にVRゴーグルを用いてVRを体験している様子。広い会場の中を実際に歩き回りながら体験してもらう。広い場所がなければ、コントローラーを用いてのVR空間内の移動も可能

7 以降は通常の商談・設計手法と同様に進行 (細部は適宜VRで確認)

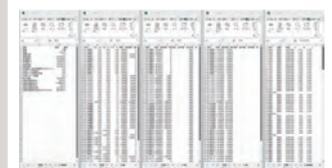
- ・基本設計や実施設計のやり取りの中で変更した点は、主にVRで適宜確認

〈実際にVRを用いた効果〉

- ・進め方自体は一般的な設計手法と同様だが、VRがあることにより、土地の魅力や、平面的な図面やスケッチでは伝えられなかった点を提案できるように
- ・原寸と縮尺を行き来するのは建て主にとって難しい。S=1:100の図面で見ると一間の押し入れでもなんでも入りそうと夢を抱いたりする
- VRを用いることで「これは入らないですね」と伝わるように。一度「VRで「行った」」場所を共有していると、それに基づいた会話ができる。建て主の空間に対する理解度 (解像度) がまったく変わり、能動的に一緒につくっている感覚に近くなる

〈現在の検証・開発状況〉

- ・積算との接続や温熱計算の検証を始めた段階
- ・現状、実施図や詳細図は人力でCAD図面を描く必要があるが、技術的には難しくないので、来年中には自動化できている見込み



数量拾い表のイメージ。積算に使用する各部材の大きさや個数を網羅的に出力し、この数値を自社の各品目の単価と掛け合わせて積算を行う (※表は archiroid から出力した参考)

■ 慶應 SFC SBC β4



佐々木氏の出身校である慶應義塾大学の湘南藤沢キャンパスにある、12戸からなる個室滞在棟群。設計の授業のように学生が主体的に設計・施工を手がけたプロジェクトで、学生が作成したプランをもとに、自動設計から積算、プレカットデータ作成までを行える、archiroid に似たシステムを開発・使用した。通常2週間程度の時間を要する見積もりやデータチェックも、わずか半日で完了。積算と実際の差は、数量的には誤差ゼロ、金額の誤差も1%程度だった。このシステムを実際に使えるように、という流れで進化してきた (撮影：慶應義塾大学松川昌平研究室)

※3：3D ガウシアン・スプラッティング…現実世界で撮影した動画や写真からデータを採取し、3D空間として再構成するラスタライゼーション技術の一種

スマートビルダー化が工務店の未来をつくる

現場管理の人手不足を解消、経営と現場の質を向上 —— log build ©神奈川県横浜市



現場管理のDX化を手がけるスタートアップのlog build、地域工務店ecomоの両代表を務める中堀健一さん。大工や現場監督を経て、26歳のときに独立した

スマートビルダー化が工務店の未来をつくる。現場管理のDX化を手がけるスタートアップのlog build (神奈川県横浜市) 社長の中堀健一さんは力を込める。時間外労働の上限規制が導入された建設業における「2024年問題」で相容れない残業規制と人手不足に苦悩する工務店が増加。いま、住宅産業は“転換期”に差し掛っている。この危機にどう立ち向かえばいいのか。中堀さんに聞いた。【聞き手、本誌編集部】

現場管理は工務店の“一丁目一番地”です。昭和から平成、令和にかけて技術革新が進みましたが、こと現場に限って言えば、状況は変わっていないと言っても過言ではありません。未だ多くの現場監督が過重な業務負担に直面している現状です。

施工中や竣工後に欠陥や問題が発覚すれば、地元での信用問題に発展し、経営に大きな損害を与えかねません。しかし、施工品質や安全管理の基準が不十分であるため、経営者は現場管理の生産性向上に頭を悩ませています。職人不足や高齢化が加速する一方で、そのしわ寄せが現場監督の負担の増大につながっています。

現場の品質管理も 監督の能力によるところが大きく、家づくりの品質のばらつきが出る要因となっています。現場監

督の業務を効率化し、現場管理の質を向上させるためには、工務店の“スマートビルダー化”が不可欠です。

私たちlog buildが提供する「Log System」は、現場の遠隔管理を可能にし、現場監督の移動時間を大幅に削減します。360度画像を用いた現場の可視化により、どこにいても現場の状況を把握できる環境が整います。

また、施工品質をチェックするための標準施工要領書やチェック項目が整備されているため、経験の浅い社員でも適切な施工品質を維持することができます。特に、「Log System」によって施工品質のチェックがオンラインで可能になり、若い女性スタッフや専門知識のないスタッフでも効果的に業務をこなせるようになります。

つまり、現場監督が本来やるべき現場

管理の5大管理の中の「情報管理・原価管理」に集中できる環境を整備することができます。

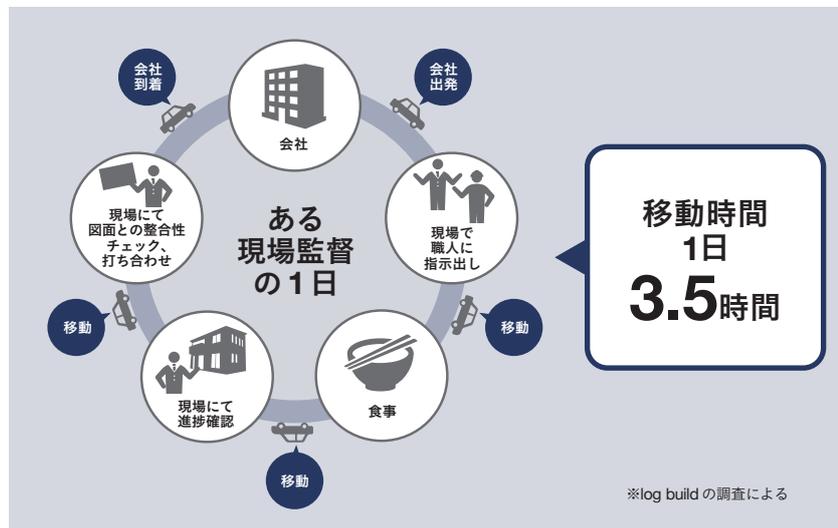
現場監督がデスクワークに集中できるようになることで、完全着工に向けた取り組みを推進する事が可能になります。顧客や設計担当者の意図を正確に理解しながら施工を進めることができます。設計担当者と現場監督のコミュニケーションが活発になり、「施工品質の向上」という好循環が生まれます。

現場監督ガチャをなくす

私は東京の工務店で働き始め、最終的には現場監督をしていました。当時、現場が終了した後にデスクワークが待っており、移動時間も長く、本気で「どこでもドアがあったら…」と思っていました。

26歳の時に独立し、神奈川県湘南エリアでecomоを創業しました。自ら工務店を経営する中で、既存のやり方では本当の意味での現場管理はできないと考えるようになりました。現場監督によって現場の様子が全く異なっており、顧客にとっては「良い現場監督に当たれば良いが、悪い監督に当たってしまうと…」という、まさに“ガチャ”状態です。施主にとっては命である時間を削って一生支払っていく住宅です。監督ガチャが起きていい理由なんかありません。

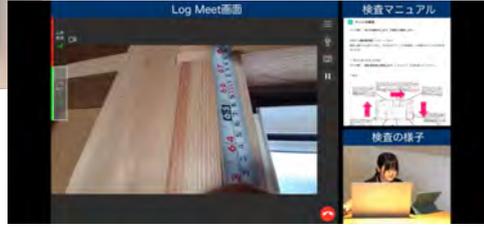
なぜ、こういう状態になっているか。現場監督の業務負担が多すぎて、本来





◀ VR で、安全パトロールを全棟実施することや、設計やインテリアコーディネーターによる現場チェックも遠隔で可能

▶実際にライブ中継しながら品質管理している様子をスクリーンショットしたもの。画面上にポインターを映し出して指摘箇所を共有・指示できるほか、図面の共有なども可能



やるべき仕事に集中できていないという要因が挙げられます。加えて、施工品質や安全管理を徹底しようとしても、評価するための基準がないという問題もあります。

そこで、現場を遠隔管理し、移動時間を削減しようと考えました。色々なツールを試してみたのですが、なかなか上手くいかず、「それなら自分たちで作ろう」ということで log build で開発したツールが「Log System」です。

徹底したマニュアル化で 新人でも出来る環境構築を

「Log System」によって、360度画像を用いて遠隔で現場の様子を把握できる環境が整いました。また、配筋から基礎チェック、アフターまでの仕様をマニュアル化した標準施工要領書も整備しました。標準施工要領書を協力業者の方々クラウド上で共有することで、現場で施工方法に迷った際に現場監督に連絡するといったことが無くなりました。

施工品質を自主施工チェックするためのチェック項目も策定しました。このチェック項目を活用すれば、誰でも適切な施工が行われているか否かを判断できます。しかも現場の大工さんなどがスマホで写した映像を見ながら遠隔でチェックを行い、オンライン上で打ち合わせが可能です。

ecomо では若い女性スタッフが施工品質のチェック業務を担当しています。マニュアルとチェック項目を明確にしておけば、専門知識がないスタッフでも適

切な自主施工チェックを行うことができます。むしろ専門知識がない方が、妙な付度をすることなく不備がある部分などを指摘できます。

たとえば ecomо では、新卒入社3年目の事務系職種の女性社員が年間37棟の品質管理、安全管理を一人で行っていきます。マニュアルを完備しているのですぐに自走できるようになります。

現場監督は本来やるべき情報や原価の管理などを徹底できるようになりました。顧客との打合せに現場監督が同席することも増えました。これによって顧客や設計担当者の意図を理解した上で、施工品質を管理できるようになりました。

設計担当者と現場監督が頻繁にコミュニケーションを行うようになった結果、さらに施工品質が向上していくという好循環が生まれています。

工務店をスマートビルダー化

民法改正などの影響もあり、今後、設

計通りの施工が行われていないと、深刻なクレームに発展する懸念があります。log build としては、「Log System」というツールだけでなく、現場管理や安全管理の新たな仕組みを他の住宅会社の方々にも提供することで、集客の部分だけでなく、「作る部分」の根幹を担う現場管理を改善していくお手伝いができればと考えています。

こうした活動を通じて現場監督や協力事業者の方々の業務負担を減らし、次世代を担う人材が住宅業界に入ってくる状況を生み出すことに貢献していきたいです。

工務店の未来はスマートビルダー化によって大きく変わります。log build の導入により、少人数でも効率的に現場を管理し、競争力を高めることが可能です。

現場管理の人手不足を解消し、品質管理、安全管理を向上させるために、log build の「Log System」とリモート現場管理代行サービスを検討していただきたいです。

工務店のスマートビルダー化は、今回触れた現場管理のみならず、広報や営業、設計などの工務店のワークフロー全体の仕組みを生産性高くする仕組みです。ぜひ詳細を知りたい方は、log build に気軽にお問い合わせください。〈談〉

私たちが現場管理の品質管理、安全管理をリモートで代行します！

NEW
Log System を使って
現場管理の一部を
代行するサービスを
始めました



こんな方におすすめ

- ✓ 現場管理の品質管理が出来ていない
- ✓ 現場監督不足
- ✓ 現場管理の基準が無い
- ✓ 会社の品質をもっとPRしたい

私たちが、
リモートダイコウで
解決させて
いただきます。



〒220-0012
神奈川県横浜市西区みなとみらい3-7-1
WeWork オールシャングートみなとみらい8F

無料オンライン相談会実施中！
他社事例を公開中
各種問い合わせはこちらまで



05

ChatGPT

SEO対策の効率を1万倍にアップ! ChatGPT [コンテンツ生成] 超入門

ハイウィル

ChatGPT-4oの登場でAIは一気に実用段階に突入。

AI活用でコンテンツマーケティングの省力化を実現した工務店・ハイウィルの稲葉高志氏と工務店支援・リブウェルの田中啓之氏を取材。GPT-4oによるコンテンツ生成の手法を取材した。

取材・文：大管 力

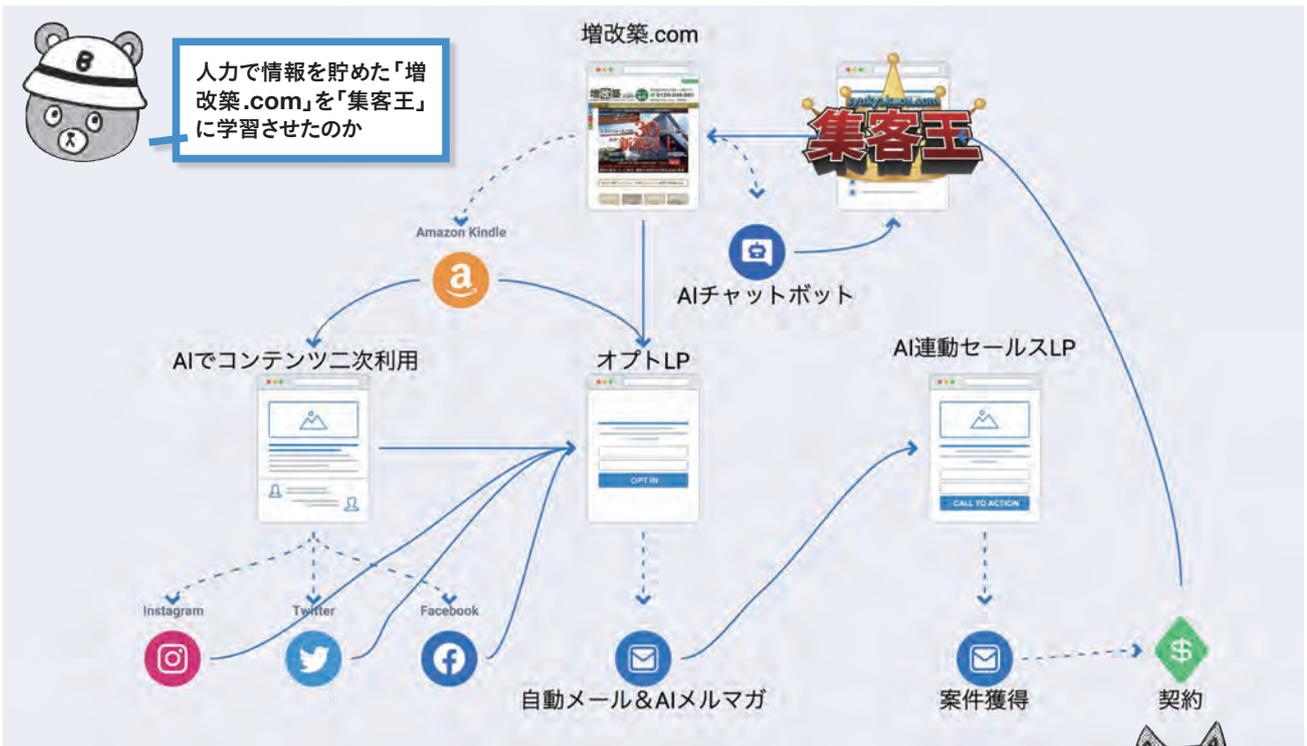
中小企業のマーケティングはコレ

中小企業はコンテンツマーケティングに向いている

マーケティングの要点を60字で解説

中小企業のコンテンツは独自性が高く、コン	20
텐츠マーケティング向き。ストーリーを備	40
えて共感を生むと最強。AIとも相性がよい	60

■ハイウィルのコンテンツマーケティングの仕組み



人力で情報を貯めた「増改築.com」を「集客王」に学習させたのか

情報量が豊富な会社はAIでコンテンツ生成の自動化が容易だね

SEO対策を20年以上続けてきたコンテンツサイトの「増改築.com」をAI活用の自動コンテンツ生成サービスの「集客王」で補強。強力な集客力をもつ。集客王は同社独自のサービスで一般に販売

コンテンツの特性がコレ

- ハウスメーカーなど大手は顧客対象が広く、浅い。コンテンツは一般的な内容になるため、コンテンツマーケティングには向かない
- 一方、中小企業はコンテンツの独自性を出しやすく、コンテンツマーケティングに向く。AIの特性をうまく使えるとさらに強い
- SEO対策なら誰が書いたコンテンツでも効果が出るがストーリーがないと共感されない。アクセス数だけ伸びて受注につながらない

Kindleは客の絞り込みやファン化に非常に有効だな



基礎補強では、既存基礎に補強アンカーを打ち込んで問題ないだけの強度があるのか、既存基礎をコア抜きして圧縮強度試験を行うことがあります。役所の申請を必要とする補強工事、検査済証のない建物の申請などでは民間の指定検査機関での申請などで強度結果を要求されることもあります。

では、具体的にどのような補強をするのでしょうか？

旧耐震基準で建てられた無筋基礎部分にフオーカスして補強工事について考えてみたいと思います。

無筋基礎の場合、一体化されていないため水平方向の地震に非常に弱いです。基礎を一体化する補強が必要です。

無筋基礎とブロック基礎の場合、既存基礎に抱き合わせる形で新たな基礎増し打ちするわけですが、外側もしくは内側に、鉄筋コンクリート基礎を既基礎に抱かせる形で一体化させます。(増し打ち、抱き基礎・抱き基礎・え基礎・ツイン基礎等と呼ばれています。)

その際既存の基礎にはケミカルアンカーを打ち込み、しっかりと鉄筋で繋ぎ、新しい基礎と土台はアンカーでしっかりと繋結することが必須です。

添え基礎補強をしない、できないロケーションなどではアラミド繊維補強材による布基礎補強をする場合もあります。

基礎補強では、既存基礎に補強アンカーを打ち込んで問題ないだけの強度があるのか、既存基礎をコア抜きして圧縮強度試験を行うことがあります。役所の申請を必要とする補強工事、検査済証のない建物の申請などでは民間の指定検査機関での申請などで強度結果を要求されることもあります。



「戸建てリノベーションで絶対に損をしないための虎の巻」(稲葉高志著)より

コンテンツ活用の方針はコレ

オウンドメディアを育てて
コンテンツを多用途展開

コンテンツ活用の方法を
60字で解説

SEOは裏切らない。10
アクセス数と優れたL20
Pで受注可。SEO効30
果の高いコンテンツは40
Kindleや動画、50
SNSなどに活用する60

注文住宅市場が半減して打率
が必要な時代には必須だね

コンテンツ活用のポイントはコレ

- SEOの基本はカスタージャーニーマップの作成。検索に用いる単語、その単語に導く単語、検索後に再検索する単語などを明確化
- さらによく読まれるコンテンツ、契約直前に読まれるコンテンツ、逆に相性の悪い客を引きつけた単語やコンテンツなども明確化
- 上記単語を含むコンテンツをオウンドメディアにストックし、Kindleや動画、複数のSNS、チャットボットなど多用途展開

AIを使う意味はコレ

AIは人力の1万倍
という超高効率で
コンテンツを作成

AIを使う価値を60字で解説

かつては日記を書き貯めて人力でコンテンツ20
化。これを継続するのはストレスがかさむ作40
業でネタも切れる。それをAIに代替させる60

問い合わせメールとメールから生成したコンテンツ例

問い合わせ例

お名前：山田太郎(仮名)
メールアドレス：●●●●@gmail.com
お電話番号：:070-●●●●-●●●●
ご住所(現場のご住所をお願いいたします)：東京都●●区●●町
築年数：築31年
建物の総面積(2階建ての場合1階と2階を合わせた面積)：85㎡
フルリフォームのご予算：1800万円
リフォーム費用にローン利用の予定：ない
時期(工事を開始したい時期・ご希望の完成予定時期)：補助金に間に合う時期で。
ご相談内容はこちらへどうぞ：

現在、築31年の戸建てに住んでおり、窓の断熱性能を改善したいと考えております。そこで、サッシ交換と内窓の設置についてお伺いしたいことがあります。

1. サッシ交換の工事内容：

- ・サッシ交換とは具体的にどのような工事になるのでしょうか？工事の流れや期間について教えてください。
- ・サッシ交換による断熱効果や遮音効果の向上についても詳しく知りたいです。

2. 内窓の設置について：

- ・内窓とはどのようなもので、どのようなメリットがあるのでしょうか？
- ・内窓設置の際の工事内容や期間についても教えてください。

3. 費用について：

- ・サッシ交換と内窓設置の費用はどのくらい違うのでしょうか？目安となる費用を教えてください。
- ・また、それぞれの工事にかかる費用対効果についてもご意見をお聞かせください。
- ・現状の平面図や外観がわかる写真をお送りする準備がございましたら、必要な情報があればお知らせください。
- ・お忙しいところ恐縮ですが、何卒よろしくお願ひ申し上げます。

回答生成のためのプロンプト入力

→書き手の稲葉高志はハイウィル株式会社の4代目代表として、建築および性能向上リノベーションに関する顧客からの相談に応じています。戸建てのサッシ交換のポイントや工事の種類に関する知識「<https://www.zoukaichiku.com/>」内のコンテンツをベースとして、SEO対策に準拠したタイトル・目次・コンテンツを7000文字程度で作成してください。

生成したコンテンツ例 (一部抜粋。実際には約1万600文字)

目次

1. 戸建てサッシ交換の基礎知識
2. 戸建てのサッシ交換を簡単に！外壁解体不要のカバー工法とは
3. 成功のポイント：戸建てサッシ交換を成功させるコツ
4. 戸建てサッシ交換の費用と節約術
(1～3のテキストは省略)

4-1. サッシ交換の費用について考える

戸建て住宅におけるサッシ交換は、快適な居住空間を実現するために非常に重要な役割を果たします。

サッシの交換を検討する際、多くの方が最初に気になるのは費用の問題でしょう。窓のサッシ単体の価格を見ると、思ったほど高額ではないと感じる方も少なくありません。しかし、実際にはサッシ交換工事には、単体の費用だけでなく、さまざまな追加費用が発生します。

まず、既存のサッシを取り外した後、新しいサッシが適切に納まるようにするための大工工事が必要になります。これには、窓枠や窓台の作り直しが含まれます。また、サッシの解体時には、外壁への影響を避けることができません。そのため、外壁の補修作業も必要となるのです。これらの工程を経て、新しいサッシの設置、そして最後の仕上げまでを行います。

特に、間取りの変更を伴うフルリフォームでは、窓の位置を変更することもあります。この場合、新たな窓の設置に加えて、既存の窓を解体し、その場所を補修する必要があります。これには、新たな壁下地の作成や外壁の塗装、左官作業などが含まれます。つまり、窓を移動するためには、断熱サッシの設置費用だけでなく、壁解体や補修費用も考慮する必要があります。こうした追加費用を抑えるためには、外壁の解体を最小限に留めることが重要です。また、間取り変更後もサッシの位置をできるだけ変えないようにすることで、工事の範囲を限定し、コストを抑えることが可能になります。

サッシ交換には、アルミ製や木製、樹脂製などさまざまな素材がありますが、断熱性や耐久性に優れたものを選択することで、長期的に見て住環境の質を向上させることができます。また、補助

金や助成金の活用により、費用の負担を軽減することも可能です。戸建て住宅のサッシ交換を検討する際は、単体の費用だけでなく、全体の工事内容とそれに伴う費用もしっかりと把握し、計画的に進めることが重要です。

(後略)

4-2. サッシ交換の費用を抑えるための節約術

戸建て住宅のサッシ交換は、家の快適性や省エネ効果を高める上で非常に重要な工事です。しかし、多くの方が窓サッシ単体の費用に注目しがちですが、その他にも多くの工程と費用が関わってきます。

この記事では、戸建て住宅のサッシ交換において、費用を効率的に抑える方法をご紹介します。まず、窓サッシ交換を行う際には、既存の窓サッシを取り外し、新しいものを設置する必要があります。このプロセスでは、既存の窓枠の解体や、新しい窓サッシの規格に合わせた枠の作成が必要になります。さらに、取り外しによって影響を受ける外壁の補修作業も欠かせません。このように、窓サッシの交換は、単に新しいサッシを購入するだけでなく、解体から設置、外壁の補修に至るまで、複数の工程と費用が発生するのです。

特に、外壁解体を最小限に抑えることは、費用削減の鍵となります。外壁の解体範囲を広げると、それに伴う補修費用も増加します。そのため、既存の窓サッシと同じサイズ、またはそれに近いサイズのものを選ぶことで、外壁の解体範囲を最小限にとどめることができます。

また、間取り変更による窓の位置移動を伴う場合、さらに多くの工事が必要となります。新たに窓を設置する位置の外壁解体はもちろん、既存の窓があった部分の壁の新設と補修が求められます。このような大がかりな工事には、相応の費用がかかるため、間取り変更後もサッシの位置をなるべく変更しないプランニングが求められます。

戸建て住宅のサッシ交換に際しては、カバー工法や内窓の設置など、費用を抑えつつ効果を得られる方法もあります。カバー工法では、既存の窓枠を残して新しいサッシを被せることで、外壁の解体や補修を最小限に抑えることができます。また、内窓を設置することで、断熱性を高めつつ、大がかりな外壁の工事を避けることが可能です。

戸建て住宅のサッシ交換を検討する際には、単体の費用だけでなく、全体の工事費用を見積もり、費用を抑えるための工夫を行うことが大切です。上記のポイントを押さえることで、より効率的に、そして経済的にサッシ交換を行うことができます。

(後略)



ハイウィルらしい具体的な
詳しい記述になっているな

同社のコンテンツやメールを
AIに学習させた効果だね



AIの活用ポイントはコレ

- GPT-4oは経営者の考え方が反映されたコンテンツを簡単に生成する。ポイントはカルピスの原液＝自己紹介。これを学習させればよい
- 多くの会社には原石が眠っている。たとえば過去のニュースレターやチラシや広告などだ。これらを文字起こしをして学習させる
- さらに経営者インタビュー。共感ストーリーという手法で生い立ちや経歴、価値観、取り組みを聞き取り、活字化して学習させる

P17より

AIを生かす要点はコレ

AIの学習後、「刺さる文章」を生み出すプロンプトを精査

プロンプトの重要性を60字で解説

プロンプトにその会社
の特徴が出ていないと
「刺さる文章」になら
ない。「アクセス数が
増えてよかった」で終
わり受注には至らない

■プロンプト短縮の例

その会社らしいプロンプトを長文で抽出して圧縮すると便利だな

元のプロンプト例

あなたは高性能住宅に強い社員3人の小規模な工務店です。60代の富裕層のセカンドハウス（別荘よりも利用頻度が高い）の受注を取りに行くためにSEO対策として、郊外に建てる高性能でラグジュアリーな平屋の設計や施工のノウハウをまとめた記事を一般向けにまとめてください。記事は3部構成でそれぞれ3000文字程度。個々のテーマは違いを明確にしてやさしい文体でまとめてください

圧縮のプロンプト例

上記のプロンプトを限りなく短く。あなたが理解できれば日本語でなくてもよい

圧縮後のプロンプト

SEO 60s luxury single-story house guide 3 parts 3000w easy clear

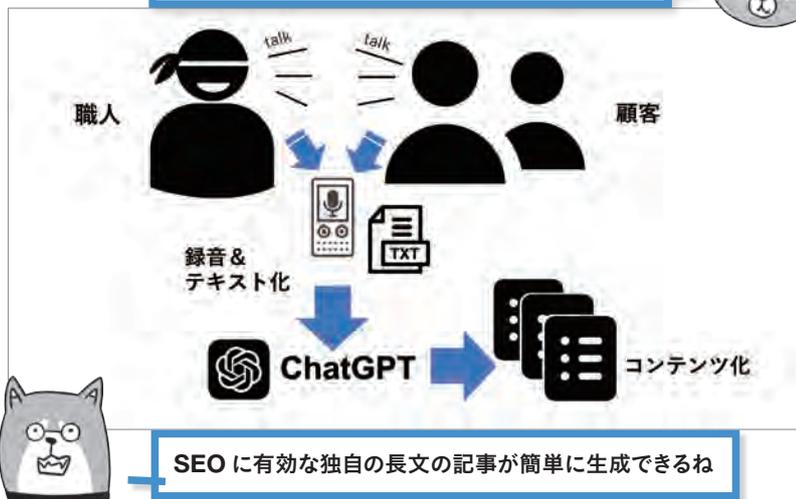
プロンプトは1/10以下の分量に簡単にできるからね

プロンプト活用のポイントはコレ

- AIによるコンテンツ作成はプロンプトが重要。社長の考え方をAIに学習させ、その個性が反映されたプロンプトを生成させる
- GPT-4oはプロンプトを生み出せる。プロンプトは圧縮できるので長文でもよい。解読不可の記号の羅列となり1/10以下の分量に
- プロンプト欄には有効なプロンプトとともに、参照データを一緒に入れる。GPT-4oの場合、学習させるより狙った文章が得られる

■ボイスレコーダー& AIは最高の組み合わせ

AIを活用すると職人と顧客との会話は宝の山だな



有用な参照データはこれ

最強の参照データは客や職人との日ごろのトーク

ノウハウの抽出方法を60字で解説

客や職人との会話を録音してアプリでテキスト化。AI用の参照データに。これらは独自のノウハウの宝庫。Q&Aコンテンツに最適

ボイスレコーダー活用の要点はこれ

- 最も有効な参照データは客との営業トークや職人との打ち合わせ。これをボイスレコーダーで記録。アプリでテキスト化して活用する
- トークは独自性の高いノウハウの宝庫。「最新の悩みと回答」が常に含まれている。それをコンテンツ化すれば新しいQ&Aとなる
- AIによるコンテンツ化の作業効率は人力の1万倍。ボイスレコーダーの記録とテキスト化の手間をかけても圧倒的な効率化になる

AIは嘘をつくりリスクがある。コンテンツの中身はAIに任せきりにせず内容の確認を怠らない。価格や仕様はデータベース化して学習させ、自社の情報をもとに発信させる

ダクトレス
熱交換換気システム

今秋発売予定

せせらぎ[®]
S400



ファンの音が
気にならない
静音設計
(風量レベル1の場合)

業界最大値の
熱交換効率
93%
(最大時)

1.6 W/h
の超低消費電力

ダクトレス熱交換換気システム「せせらぎ[®]S400」は、冷暖房エネルギー・コスト削減に貢献しながら、新鮮な空気を室内に取り込み、住まい手の快適な住環境を実現します。



パッシブエネルギージャパン株式会社

03-6433-2831

〒140-0001 東京都品川区北品川13-6-13 FAX: 03-6433-2839
Mail: otaiwase@passivenergie.co.jp URL: http://www.passivenergie.co.jp



**PASSIV ENERGIE
JAPAN**

すばらしい換気



24時間換気システム
sumika
造家



VS90
熱交換率
90%

室内の空気を排気し、新鮮な空気を取り入れる。そんな当たり前前に大切なことをsumikaは24時間365日働き続けます。

排気する空気から熱と湿度を取り戻す「熱交換システム」で高い省エネ性。「床面排気」で、ハウスダストや花粉も吸い取る。特殊な給気経路「給気ダクトレス」でダクトの汚れは気にならない。「フィルター」はメンテナンスしやすい工夫をほどこす。

大切なあたりまえに+αの「すばらしい換気」をお届けするために、マーベックスでは日々研究開発が行われています。

詳しい内容は
ホームページをご確認ください。



MAHBEX

本社

〒579-8013
大阪府東大阪市西石切町1丁目11-30
新石切駅前ビル5階
TEL: 072-943-1825
FAX: 072-943-1826
mail: info@mahbex.com

営業所

大阪/東京/九州/名古屋/仙台/広島

現場発泡ウレタンフォーム断熱材

フォームライトSL[®]

断熱等級
最高水準7
に対応

UA値
0.23
実現

高気密・高断熱住宅には
フォームライトSL[®]で
快適な暮らしを。

Smart & Long life



マシュマロ断熱の特長

- 1 高気密・高断熱で
気になる光熱費も削減!
- 2 空気の泡で
隙間のない高気密施工!
- 3 2日以内の
スピード施工が可能!

詳しくはコチラ



BASF INOACポリウレタン株式会社

工務店の 業務改善に 役立つ

DXツール

前項までで紹介したAIを中心とする最新DX手法の実践とともに、業務効率化につながるツールやサービスの導入も検討していきたい。本パートでは、編集部でピックアップした注目ツール・サービスの解説や、ベンダー各社が提供するDX化に役立つツール・サービスを一覧で紹介する。

CONTENTS

編集部 PICK UP ツール …………… P022

DX ツールカテゴリー別リスト48 …………… P026

編集部 PICK UP ツール

工務店の業務を「DXで効率化」するためには、自社の特性に合わせて適材適所のツール・サービスを選択することが重要だ。効率化のために導入したはずのものが、会社規模や社内風土の違いからかえって負担になるケースも多い。ここでは、工務店業務の効率化をサポートするツール・サービスのうち、編集部が各分野で注目するものをピックアップして紹介する。参考にして、自社のDX化に役立ててほしい。

【掲載内容について】

2024年7月19日時点の情報を、編集部でまとめて掲載しています。ツール・サービスの詳細・最新情報は、各社にお問い合わせください。

ハウスエスティーワン HOUSE-ST1

設計・プランニング系

構造システム

在来木造の構造計算ソフトを提供 2025年の法改正に向けた更新も準備中

構造システム（東京都文京区）が提供する「HOUSE-ST1（ハウスエスティーワン）」は、『木造軸組工法住宅の許容応力度設計（2017年版）』（グレー本、日本住宅・木材技術センター）に準拠した構造計算に対応した木造軸組（在来）工法用の構造計算ソフト。直感的で覚えやすい操作感が特徴だ。入力項目は特定の表示色を設定しており、リボンメニューのコマンドの配置は入力順、計算までの入力を迷わず順序立てて行えるシンプルなUIになっている。

計算結果は、伏図などと共に構造

計算書として出力する。CADからのデータ連携も可能で、通り芯などを自動的に取得し、トレース用の下絵として利用できる。木造3階建てや2階建て以下、RC・S造と木造の立面混構造の木造部分の構造計算や、屋根トラスや高倍率耐力壁を扱った大空間の構造計算、品確法に基づいた構造の安定に関する計算にも対応する。

このほか、構造計算を内製化したい工務店向けに、導入応援プランも用意している。期間限定で1週間トライアルを実施するほか、入力方

HOUSE-ST1の入力画面。部材は入力と同時に軸組や3Dで表示されるので位置関係を確認しやすい



法を学べるスクールテキストと、テキストを補足する動画教材を公開。また、グループ会社の建築ピボット（東京都文京区）が提供する省エネルギー計算ソフト「HOUSE-省エネ」とのセット価格を1割引きで提供している。

同製品は買い切りで、価格は35万2000円（最新版Ver.8.0）。有料のバージョンアップに伴う費用は、7万7000～11万円。2025年の建築基準法改正に向けた大型アップデートも鋭意準備中。実装する機能は、公式サイトで告知していく。

プライム FP

ナック

営業系

60年間の資金計画をシミュレーション 顧客の不安を解消する営業補助ツール

ナック 建築コンサルティングカンパニーは、中小工務店が顧客の資金計画を作成する際の提案力を強化するライフプランシミュレーションツール「プライム FP」を提供する。

同ツールは、住宅ローンの返済やランニングコストなどを反映させたライフプランを作成・グラフ化し、ビジュアルに訴えかけて成約率アップを狙うもの。特に「自社の住宅商品である程度は集客できているが、受注が少ない」と悩む工務店には高い効果が期待できる。

同社は、エンドユーザーごとに作

成するライフプランシミュレーションを、受注獲得において特に重要なファクターと位置づけている。顧客の「ペイン(=住宅の購入リスク=支払いへの不安)」と「ゲイン(=新たに得る物事=理想の住まい・暮らしを手に入れる)」は表裏一体であり、「ゲインを得るためのペイン(理想の暮らしを手に入れようとするとお金を失う)」というパラドックスが生じる。そんな顧客の不安を軽減するための打ち手のひとつが、同ツールでの綿密な資金計画だ。

また同社では、同ツール(モノ)と

あわせ、開発元の工務店の好業績をエビデンスとした受注ノウハウ(コト)も提供。営業活動を平準化し、再現性を高めることで、工務店の住宅商品の販売ハードルを引き下げる戦略が効果的だと考えている。

このほか、光熱費を考慮する際、住んでいる地域(電力会社と日照量)や断熱性能などの項目を変数とし、イニシャルコストだけでなくランニングコストの差などもひと目でわかるようビジュアルライズすることも可能。無料会員サービス「D-mot」にて Trial 版を提供中。

プライム FP の画面。家族構成や世帯収入、生活費、住宅ローンの借入れ情報などを入力することで、最大60年間のキャッシュフローグラフを作成できる。「住宅ローン減税活用の有無」、「繰上げ返済が100万円の場合と300万円の場合」など、2パターン以上のライフプランシミュレーションを作成・比較することも可能だ



Log System

log build

ログシステム

現場・施工管理系

リモート施工管理で生産性向上 現場管理の人手不足を解消へ

現場管理は工務店の生命線。しかし、多くの現場監督が過重な業務負担に苦しんでおり、施工品質や安全管理の基準が不十分であるため、経営者は現場管理の生産性向上に悩んでいる。現場監督の業務を効率化し、現場管理の質を向上させるためには、工務店の“スマートビルダー化”が必要不可欠だ。

log build (神奈川県横浜市) が提供するリモート施工管理プラットフォーム「Log System (ログシステム)」は、現場の遠隔管理を可能にし、現場監督の移動時間を大幅に削

減可能。360度画像を用いた現場の可視化により、どこにいても現場の状況を把握できる。

同社のソリューションは、現場監督が本来やるべき現場管理の5大管理のうち「情報管理」「原価管理」に集中できる環境を提供できるのが強みだ。現場監督がデスクワークに集中できれば、完全着工に向けた取り組みを推進でき、顧客や設計担当者の意図を正確に理解しながら施工を進められる。設計担当者や現場監督のコミュニケーションも活発になり、「施工品質の向上」という好循

環が生まれる。

民法改正の影響もあり、設計通りに施工することがますます重要になる中、同社のツールは重要な役割を果たす。集客だけでなく、現場管理の改善が工務店の競争力を強化するための鍵となる。

また同社では、人手不足の解消や現場管理における新たな選択肢として、リモート現場管理代行のサービスも展開している。標準施工要領書や設計図面通りの施工がされているか、同社の専任担当者が遠隔でチェックを実施するものだ。

Log System のイメージ図。360度画像を用いたシステムのほか、施工品質を確認するための標準施工要領書やチェック項目も整備されており、経験の浅い社員でも適切な施工品質を維持できる



知らない方にも、知っている方にもお伝えしたい

ウイルウォールが守る、3つのこと。



WILL WALL

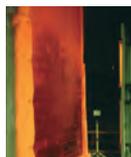
防火性能を有した天然木 100%の外壁材。
日本で初めて裏あてを使用せず、防火構造認定を取得。
準防火地域でも使用可能。

1. 火から守る

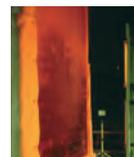
「木材は燃えやすい」という印象があるかもしれませんが、実は熱伝導率が低く、燃えにくい（燃える速度が遅い）という特性を持っています。さらに防火性能を備えたウイルウォールであれば、着火後すぐに発泡し炭化層を形成することで、木内部への酸素の侵入を防ぎます。これにより炎の燃え広がりや火の進行を効果的に抑制することが可能です。住宅が密集する都市部においても、安心してご使用いただけます。

右側の写真：木製外壁 着火実験時の様子（東京理科大学防災研究所にて実施）

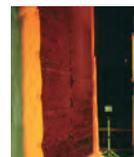
ウイルウォール
T&G パネル



燃焼開始時

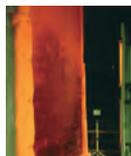


発泡を開始。火は着きません。

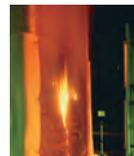


発泡と炭化層により火をブロック。

杉 本実加工パネル
(防火処理なし)



燃焼開始時



一旦着火すると



わずか 10 秒程度で
一気に燃え広がります



2. 雨風から守る

ウイルウォールには「米杉」の愛称で親しまれるヒノキ科ネズコ属のウエスタンレッドシダーを使用しています。ヒノキ同等の防腐性・防虫性に加えて、本製品は厳選した心材を使用しているため、無塗装で使用できる高い耐久性を誇ります。実際に、築 20 年以上（無塗装）でノーメンテナンスの採用事例もあり、長期的に建物を守ることが実証されています。

3. 街の景観を守る

木製外壁は周辺環境との調和性が高いため、元来の街並みや文化と喧嘩することはありません。神奈川県湘南地域では、自然豊かな街並みに調和する木外壁の住宅が多く存在し、オーナーチェンジにより長期にわたって住み継がれる文化が形成されています。ウイルウォールは、計 7 種類の形状をご用意しておりますので、建物のコンセプトや土地に合った意匠を実現することが可能です。



T&G Panel



T&G Panel Clear



T&G Panel Clear Square



Channel Siding



Beard and Batten



Bevel Knotty



Single Panel

国産杉を用いた J.WILL WALL シリーズ、木製屋根の WILL ROOF シリーズのご用意もございます。お気軽にお問い合わせください。



(写真左)
チャネルオリジナル北陸営業所
採用：ウイルウォール ベベルノッティ
©ToLo studio

(写真右)
「要素のモデルハウス」
株式会社鈴木建築様
採用：屋久島地杉 外壁 18×140×3600/4000 (加工材)
デッキ 38×140×3600/4000

知らない方にも、知っている方にもお伝えしたい
屋久島地杉の3つの個性。



Yakushima Cedar Project 2015 -

2015年より、世界自然遺産「屋久島」の人工林で育った樹齢50～60年の「屋久島地杉」を有効活用するプロジェクトをスタート。島内の林業関係者と協働し「自然林、生態系として守る森林」と「産業林として活性化させる森」の両立を目指した取り組みを行う。

1. 雨の中で育ったからこそ頑丈さ

ひと月に35日も雨が降ると言われるほど、降水量の多い屋久島。そんな特異な環境で育った屋久島地杉は、一般的な杉よりも油分を多く含んでおり耐久性・耐候性に優れています。この特性は外構利用において発揮されるため、冬は豪雪地帯となる北陸や東北地方においても数々ご採用いただいております。さらに、防蟻・防ダニ・リラックスなどへの有効成分も多いため内装利用においても安心とくつろぎを与えます。

本土の杉と比べると『屋久島地杉』は、

リラックス成分 20倍 <small>α-セドロール含有量 ヒノキ科やスギ科の樹木の香りに含まれているリラックス効果があり睡眠の質を改善する成分</small>	防ダニ・殺ダニ 17倍 <small>β-オイデスマール 防ダニ・殺ダニ効果がある成分</small>	防蟻・殺蟻 20倍 <small>α-クリプトメリオン 防蟻・殺蟻効果がある成分</small>	強度 1.2倍 <small>ヤング係数 地杉：90 tonf/cm² 杉の全国平均：70-80 tonf/cm² 材料の変形しにくさ、たわみにくさを表す。大きくなればなるほど材は変形しにくいことを表す。</small>
---	--	---	---

*杉の一種（全国平均）的なヤング係数と比較した場合



2. 梓におさまらない豊かな表情

はつきりとした濃淡にダイナミックな木目。その不揃いな表情こそが地杉そのものが持つ大事なエッセンスです。それは「荒っぽくて遅しい」ということでもなく、ある種自然の優しさや繊細な感じが出ています。屋久島地杉にしかない趣きと、シルバーグレーへと変化する経年美を存分にお楽しみください。

3. 屋久島地杉のデザインの可能性

プロジェクトの一環として設立した「屋久島地杉加工センター」のスタートをはじめ、建材・木材小売りが伐採を含めた林業・製材を行うサプライチェーンを構築。在庫製品のみならずご要望に沿ったカスタム製品開発まで様々なニーズに対応。屋久島地杉のあらゆる可能性をともに考え、ご提案をさせていただきます。



DXツール カテゴリー別 リスト48

ベンダー各社が推す工務店に特化した DX ツール・サービスを「営業系」「設計・プランニング系」「現場・施工管理系」「経営・社内系」の4つのカテゴリーに分け、一覧で紹介していく。本特集内で解説してきた内容も踏まえ、自社の業務効率化に役立つ DX ツール・サービスをぜひ見つけてほしい。

【掲載内容について】

ツールやサービスを提供する企業などにアンケートを依頼し、その回答を編集部でまとめたものです(実施期間:2024年6月7日~7月3日)。内容についてはあくまで回答を編集したもので、編集部がその内容を検証したものではありません。より確実に製品の内容を確認したい場合は、提供会社から詳細な資料をお取り寄せいただきますようお願いいたします。

見方解説

ツール・サービス名

住宅営業戦略システム
アルタレボリューション
ALTAREvolution

コンピュータシステム研究所

提供社名



概要・特徴

**商談段階で利用し受注を獲得
改正建築士法にも対応**

「ALTA Revolution」は、プラン作成からプレゼン、積算・見積、設計、法規チェック、伏図・構造計算まで行える住宅営業支援システム。設計士が利用する建築CADとは異なり、商談段階で利用し、受注を獲得するためのツールで、意匠図から構造図の作成を簡単・スピーディーに行え、改正建築士法にも対応する。

問合せ先

☎ 03-33504-686
✉ cadsupport@cstnet.co.jp

カテゴリー

- 営業系
- 設計・プランニング系
- 現場・施工管理系
- 経営・社内系

営業系

建築ロボアドバイザー

マイホームロボ
My Home Robo
安心計画



ファーストプランの提案資料を AI で 劇的な時短効果を発揮

デザインセンスに加え経験やスピードが要求されるファーストプランの提案資料の作成を AI にまかせて劇的な時短効果を発揮。営業・設計担当者を無駄時間から解放し、美しい CG や VR、「Walk in home Plus」との連動により初期提案からフォロー〜クロージングまでをカバー。編集可能な約 6000 件のプラン集も別途用意している。

☎ 092-475-1751

✉ contact@anshin.co.jp

アンドパッド
ANDPAD おうちノート

ANDPAD



**引き渡し後のアフター管理まで
すべてのやりとりを一元管理**

工務店と施主をつなぐコミュニケーションプラットフォーム。お施主様とのメッセージ、資料・写真等のやりとりが可能。契約から引き渡しまでの工務店とお施主様のコミュニケーションを円滑化し、引き渡し後のアフター管理まで支援する。管理画面では各案件のやりとりを一覧で確認でき、トラブル防止にも寄与。顧客満足度アプリに貢献する。

☎ 03-6831-4551

✉ info@andpad.jp

クラウド
いえらぶCLOUD

いえらぶGROUP



**VRコンテンツ作成可能
遠方の顧客にも対応**

売買会社向けのサービス、売買版「業者間サイト」を提供。物件情報のリアルタイム確認、資料ダウンロード、広告申請、内見予約がオンライン化できる。VRコンテンツ作成も可能で、遠方や海外からの顧客にも対応可能。売買領域のサービスにも注力しており、買取再販大手企業などでの導入も増えている。

☎ 050-1750-8270

✉ pr@ielove-group.jp

いえらぶサイン

いえらぶGROUP



**幅広い基幹システムと連携し
電子契約書面を作成**

不動産の売買取引でも電子契約が増えている。いえらぶサインでは、印紙代や契約における署名・押印の手間を軽減。幅広い基幹システムと連携し、元の書類のひな型を活用した電子契約書面を作成できる。2022年には総務省が後援する「ASPIC IoT・AI・クラウドアワード」にて経営改革貢献賞を受賞。

☎ 050-1750-8270

✉ pr@ielove-group.jp

ラクタップ
RAKU TAP

it's House



**G2 相当の性能と豊富な
プランをワンストップで**

別荘を購入できるECサイト。G2相当の性能×豊富なプランで商談～契約～現場管理～アフターサービスをワンストップで提供。本体・オプション価格をWeb上に公開し、顧客自ら仕様選択、資金計画、3D配置シミュレーションによる斜線チェックなどを行える。見積書や仕様書の自動生成、書類管理、必須業務のアラート機能など全てをDX化。現体制で新たな層の受注獲得に貢献する。

☎ 03-6823-0724

✉ support@its-house.co.jp

つながる家づくり
プランテーブル
- plantable -

エフ・ディー・シー



**打ち合わせ以外でも
図面ベースでのやりとり可能に**

「言った言わない」をなくす工務店専用の接客アプリ。施主との図面の共有や要望の管理、普段の連絡・相談などすべてをプランテーブル1つに集約。普段使いのメールやチャットをプランテーブルに置き換えるだけで、打ち合わせ以外でも図面をベースにやり取りができる。イメージを共有することで、「言った言わない」での損失を防ぎ打ち合わせの効率化・業務のDX化を実現。

✉ plantable@fdc-inc.co.jp

イエコン
iecon

CoLife



**「OS」と「ホームサービス」で
住まいと暮らしのインフラを創造**

社会の成熟と共に「新築から良質なストックへ」という潮流が加速する住宅業界。住宅事業者と居住者をつなぐ「オーナーリレーションマネジメント」発想のもと、情報やデータを管理する「OS」と不可欠な「ホームサービス」を提供。良質な住まいと暮らしのインフラを創造する。

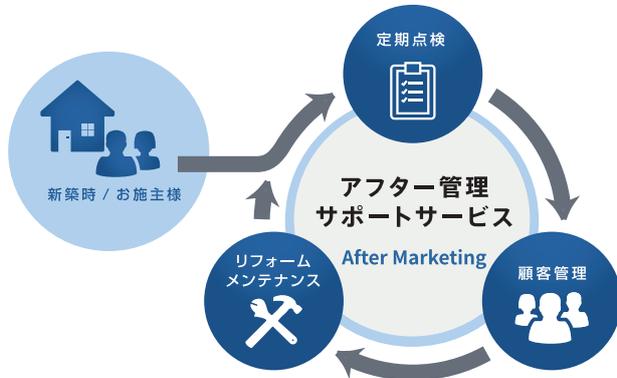
☎ 03-6861-4100

✉ iecon-orm@colife.co.jp

戸建て住宅お引渡し後の定期点検代行サービス

アフター管理サポートサービスで住まいは経年進化する

【アフター管理サポートサービス】 — お施主様と工務店様の持続関係性を築く —



ビルダー・工務店の
経営者様 必見!

導入実績約300社!!

※関東・東海での実績です。

人手不足・人材確保が困難な状況下で、生産性を高めたいという課題をお持ちのビルダー様から多数賛同いただいている、「定期点検」・「維持管理情報の蓄積」が自動的に実行される「住まいのアフターマーケティング」システムです。



ビルダー様・工務店様のアフター体制構築支援なら

同封のハガキでお気軽に資料請求もできます

お問い合わせは
こちらから▼

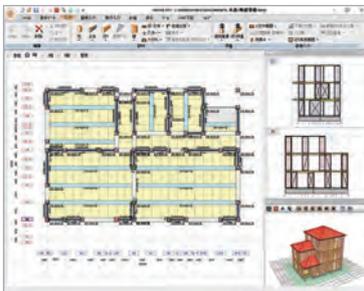


東京事業本部 **TEL 03-3400-7517**
東京都渋谷区渋谷1-17-2 TOKYU REIT渋谷宮下公園ビル10F
【mail】 builder@ig-corp.jp



2025年法改正への備えは万全ですか？

4号特例縮小 / 省エネ基準適合義務化



IT導入補助金対象

1週間無料トライアル

年間保守料不要

木造住宅の構造計算

HOUSE-ST1

在来木造の構造計算を行います。

3階建て以下のほかに、RC/S造との立面混構造の木造部分を扱います。

＼まとめてお得！／
住宅省エネセット

HOUSE-ST1 + HOUSE-省エネ



木造住宅計算ソフトと省エネ計算ソフトを
お得なセット価格でご購入いただけます



詳しい内容は
こちらから！

株式会社 **構造システム**
URL <https://www.kozo.co.jp/>

本社営業 〒112-0014 東京都文京区関口2-3-3 TEL03-6821-1311 FAX03-5978-6215
大阪支社営業 〒541-0041 大阪市中央区北浜1-1-10 TEL06-6203-2430 FAX06-6203-4117
札幌営業所 TEL011-218-6628 仙台営業所 TEL022-267-2811 名古屋営業所 TEL052-583-0350 福岡営業所 TEL092-716-9311

ビジネス・プロセスマネージャー
BPM
CRM



顧客状況をリアルタイムに
情報収集し共有・分析

営業支援から引渡し後の定期点検やアフター対応、再受注までを一元管理。顧客状況の見える化が可能で、営業状況、アフター状況などもリアルタイムに情報収集を行い、共有と分析が可能。ノーコードにて自社の業務に合った形での運用・管理が行える。業務を標準化することで、仕事の段取りや対応漏れによる無理・無駄がなくなる。

☎ 03-6721-5057
✉ info@buildcrm.com

ワーブホーム
WARP HOME

JIBUN HAUS.



高精細 VR で住宅の魅力発信
効率化と顧客満足と同時に実現

全国140店が加盟する住宅FC・VC「ジブンハウス」のノウハウを生かした、集客～契約プロセスを効率化させるクラウド型住宅営業プレゼンテーションツール。高精細VRで住宅の魅力を伝え、ARで更地にCGの家を表示、特許取得の土地建物マッチング機能を備える。営業効率だけでなく、インタラクティブな体験で顧客満足度も向上させる。

☎ 03-5774-6660
✉ sales@jibunhouse.jp

スームズメール
SUMUS Mail

SUMUS



直感的操作でメルマガ配信を支援
中長期の見込み客育成に強み

工務店に特化したマーケティングオートメーションツール。直感的な操作でメルマガの作成・配信が可能。自動メール制作・配信機能により、顧客がいつ開封し、いつ自社のサイトを閲覧したかなども追跡できる。すぐには成約にならない見込み客を中長期的にフォローし、成約に至るまで育てるのが目的。マーケティング業務を一元管理・自動化し生産性向上を図る。

☎ 080-4331-0356
✉ t_honda@tlusnoc.com

バンク
土地BANK

ネットデータ



土地探し営業時に最適な
地図型営業ツール

不動産売買仲介・注文住宅の土地探し営業時に利用する不動産情報やハザード情報、学区などの情報を地図上に表示させて営業することができる地図型営業ツール。自分たちで情報を登録することももちろんのこと、自動で収集してくる不動産情報もあるので手間なく利用できる。また、5年以上蓄積した過去情報も閲覧可能で、不動産市況の動きが簡単に把握できる。

☎ 086-245-9696

カスタマーナウ
Customer now!

HAGS



高関心度の見込み顧客を可視化
アポ率2倍の実績

不動産・建築業界に特化した顧客管理・自動追客ツール。関心度の高い見込み顧客の可視化や、営業プロセスの自動化による効率的な活動ができる他、業界に特化したシナリオ・クリエイティブが基本設定されていることによって、簡単にサービス利用がスタート可能。大手リフォーム・リノベ会社が導入済みで、アポ率が2倍になった事例も。

☎ 03-6823-2268
✉ info@hags-ec.com

マイホームマーケット
MY HOME MARKET

BIPROGY



完成イメージを高精細なVRで
住宅営業の省力化も実現

商品コンセプト、ライフスタイル、仕様、性能を訴求できるように高精細VRモデルハウスで表現、価格シミュレーションで家の概算費用を算出し購入イメージを作成。自社商品ブランディングを向上し、質の高い来場を狙える。同時にデジタル展示場にも掲載可能。住宅購入検討者の新たな流入導線を確保できる。

☎ 050-3134-2201
✉ myhomemarket@biprogy.com

サイゼン
cyzen

レッドフォックス



スマホ一つで業務を効率化
現場や外回りの強い味方

スマートフォンで営業や現場の業務効率化を支援するデスクレスワーカー向けのアプリ。勤怠管理や報告書作成、顧客情報のマッピングといった、設備メンテナンス担当者や営業担当者など外回りを必要とする業務の効率化に特化した機能を多数搭載。出退勤情報や位置情報など外出記録をスマホアプリで収集・分析することが可能。

☎ 050-1781-0601

✉ maruyama.mito@redodox.co.jp

設計・プランニング系

3D住宅プレゼンCAD
ウォークインホームプラス

Walk in home Plus

安心計画



作業効率大幅アップ
無料アプリも新登場

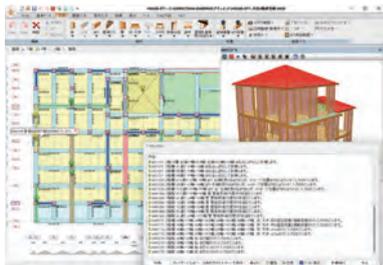
スピードと操作性重視の3D住宅プレゼンCADが、高画質CGプレゼンから図面作成、構造・法規チェック、申請書類作成まで全面サポートして業務効率を大幅アップ。さらに、場所を選ばずiPadでプラン入力できて「Walk in home」ともデータ連動する無料アプリ「Walk in home プランにゃ〜」も新登場。

☎ 092-475-1751

✉ contact@anshin.co.jp

ハウスマスター
HOUSE-ST1

構造システム



豊富な自動計算機能
「耐震性」認定基準にも適用

簡単な操作と豊富な自動計算機能の在来木造の構造計算プログラム。木造3階建て以下のほかに、RC/S造との立面混構造の木造部分の構造計算を行う。「木造軸組工法住宅の許容応力度設計(2017年版)」、「JISA3301を用いた木造校舎に関する技術資料」にも対応し、長期優良住宅の「耐震性」認定基準にも適用できる。

☎ 03-6821-1311

✉ sales@kozo.co.jp

ハウズドック
HOUSE-DOC

構造システム



最新の耐震診断方法に対応
安心・安全な補強計画を提案

木造住宅の耐震診断と補強計画を行うプログラム。在来軸組構法に加えて枠組壁工法、伝統的構法の木造住宅を一般診断法、精密診断法1で計算することができる。長期優良住宅化リフォーム推進事業の耐震性にも用いられる。「2012年改訂版木造住宅の耐震診断と補強方法」に準拠。日本建築防災協会の木造住宅耐震診断プログラム評価を取得。

☎ 03-6821-1311

✉ sales@kozo.co.jp

アイアーム
i-ARM

建築ピボット



プロジェクトの初期段階で
建築計画を具現化

i-ARMは、建築のデザイン検討や法適合確認、環境解析、設計図書作成が可能な3次元の建築設計ソフトウェア。設計業務において、その建築の「かたち」が決まる前には多くの案=モデルをつくって、さまざまな検討が行える。プロジェクトの初期段階で設計者の頭の中にあるものを検証し具現化するツール。

☎ 03-6821-1691

✉ sales@pivot.co.jp

多機能耐震パネル

タフボード

4号建物・許容応力度
計算可能!

国土交通大臣認定
《国住指第2867号》



タフ900

壁倍率
4.5倍

タフ600

壁倍率
3.8倍

タフ455

壁倍率
3.5倍

売れてます!!

近日発売! 乞うご期待!



簡単に「立ち」「対角」が出せる!
水平構面にも使える!

タフトライ

代理店募集

※権利金、保証金、加盟金不要



株式会社 ビスタックジャパン

〒587-0022 大阪府堺市美原区平尾2392

TEL.072-361-8880

FAX.072-363-0376

タフボード

検索

<https://www.visdac.co.jp/>

好評発売中

伊礼智の 住宅設計作法 シリーズ

伊礼智の住宅設計作法Ⅲ
心地よさのものさし

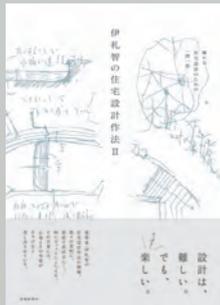


自身の設計について文章・イラストともに書き下ろした一冊。近年の住宅設計では欠かせない「性能と意匠」を両立させた8軒の住宅を、写真と図面、ポイント詳細図、性能まで紹介。

A5判・192頁
定価: 3,080円 発行: 2021年1月



伊礼智の住宅設計作法Ⅱ



数々の質問に素直で真面目に、時にウィットにこたえる。その言葉には心地よさの本質がさりげなく差し出されている。その居心地よさを生み出すための住宅設計作法とは…。Q&A形式でわかりやすく解説。

A5判・280頁
定価: 2,970円 発行: 2017年10月



伊礼智の住宅設計作法
小さな家で豊かに暮らす



住宅設計のスタンスとプロセスを、豊富な写真と図面とともに解説した、作品集でもなく図面集でもない、まるで対話しているかのように設計の基本が学べる新しい住宅設計の教科書。

Kindle版のみ
定価: 1,600円 発行: 2020年4月

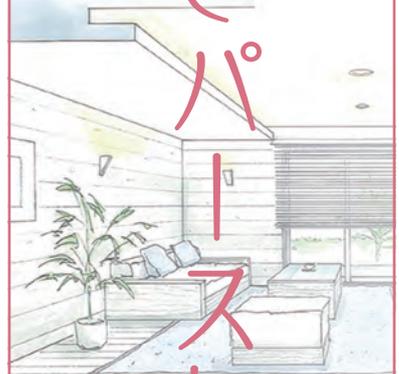


お問合せ 新建新聞社 住生活メディア事業部
support@shinkenpress.co.jp

動画で学ぶ 手描きパース 初級講座

講師

一般社団法人日本パーステック協会
会員・協会認定講師 藤田 享氏



26本の動画収録(約7時間)



手描きパース初級講座 USBメモリ版
新建ハウジング特別価格 55,000円(税込)

動画形式: MP4・WMV

資料: PDF(38P)

付録: パース検定2級・3級公式テキスト
(一般社団法人日本パーステック協会 発行)

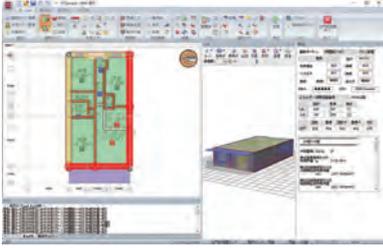
お問い合わせ
新建ハウジング
TEL.026-234-2215

新建ハウジング 手描きパース 検索



セーブ SAVE-住宅

建築ピボット



建築物省エネ法に準拠 多彩な計算・出力機能を搭載

SAVE-住宅は、建築物省エネ法基準に準拠した、住宅における省エネルギー計算ソフトウェア。住宅・住戸の外皮性能(UA値 η A値)と一次エネルギー消費量の計算、一次エネルギー消費量等級・断熱等性能等級判定や冷暖房費など、多彩な計算・出力機能を搭載。マンション・住宅の省エネルギー設計、届出業務をトータルに支援する。

☎ 03-6821-1691
✉ sales@pivot.co.jp

ハウス HOUSE-省エネ

建築ピボット



省エネ設計、届出業務を トータルに支援

HOUSE-省エネは、建築物省エネ法基準に準拠した、戸建て住宅向けの省エネ計算ソフト。住宅の外皮性能(UA値 η A値)と一次エネルギー消費量の計算、省エネルギー等級や冷暖房費など、多彩な計算・出力機能を搭載。戸建て住宅の省エネルギー設計、届出業務をトータルに支援する。

☎ 03-6821-1691
✉ sales@pivot.co.jp

ドラエアー DRA AR

建築ピボット



実際のスケール感や 完成イメージを具体化・共有

DRA ARはDRA-CADの平面図や3Dモデルなどのデータを、現実空間に配置できるARアプリ。DRA-CADのデータを、iPhone/iPadのカメラで写した映像と重ね合わせて表示させることができる。計画地での実際のスケール感の確認や、クライアントとの完成イメージの共有などに活用可能。

☎ 03-6821-1691
✉ sales@pivot.co.jp

ドラビューアー DRA Viewer

建築ピボット



スマホやタブレットで いつでもどこでも図面を活用

DRA Viewerは誰でも手軽に利用できる、DRA-CAD二次元図面ビューアーアプリ。スマホやタブレットを使って、いつでもどこでもDRA-CAD図面を活用することができる。DRA-CADで作成した素晴らしい図面資産やアイデアを、いろいろな場所に持ち出して多くの人に伝えることが可能。

☎ 03-6821-1691
✉ sales@pivot.co.jp

住宅営業戦略システム ALTA Revolution

コンピュータシステム研究所



商談段階で利用し受注を獲得 改正建築士法にも対応

「ALTA Revolution」は、プラン作成からプレゼン、積算・見積、設計、法規チェック、伏図・構造計算まで行える住宅営業支援システム。設計士が利用する建築CADとは異なり、商談段階で利用し、受注を獲得するためのツールで、意匠図から構造図の作成を簡単・スピーディーに行え、改正建築士法にも対応する。

☎ 03-3350-4686
✉ cadsupport@cstnet.co.jp

木造建築物 構造計算ソフト KIZUKURI

コンピュータシステム研究所



初心者でも直感的にわかる インターフェースで高い操作性

「KIZUKURI」は、3階建てまでの軸組工法木造建築物及び混構造建築物の木造部分の構造計算を行うソフト。日本住宅・木材技術センター発行「木造軸組工法住宅の許容応力度設計」に準拠した構造計算が行える。構造計算の初心者でも直感的にわかるインターフェースで、早く、ミスのない操作を実現する。

☎ 03-3350-4686
✉ kizukuri@cstnet.co.jp

CG/VR制作サービス

JIBUN HAUS.

細部までこだわった
高品質なCG制作

住宅FC・VC「ジブンハウス」や住宅プレゼンテーションツール「WARP HOME」での知識・経験を生かし、各社のニーズに合わせたCGを制作。特徴はその高品質さ。細部までこだわったインテリアなどの演出、光と影の表現が、企業のビジョンを具現化。戸建てやマンションはもちろん、リゾートホテルやオフィスなど幅広く制作可能。

☎ 03-5774-6660

✉ sales@jibunhouse.jp

オシャレ建材EC「HAGS」^{ハグス}

HAGS

HAGS

have a great story

リノベのプロが厳選した
5000点以上の品揃え

「HAGS（ハグス）」は、オシャレな建材を探せるサイトとして、2019年に開設。実際にリノベーションで使用されている建材を販売しており、それ以外にもリノベのプロが厳選した国内最大級の延べ5000点以上の高品質な品揃えを実現している。オリジナル建材も充実。

☎ 03-6823-2268

✉ info@hags-ec.com

リフォーム・リノベーションの
マッチング「HAGS」^{ハグス}

HAGS

HAGS

have a great story

複数社を比較検討
自分に合った会社が見つかる

オシャレなリフォーム・リノベーション事業者、注文住宅の事業者を複数社紹介している。HAGSスタッフが話を聞いた上で、適切なリフォーム・リノベ会社を紹介するため、ミスマッチが起きにくく、また複数社紹介による、比較検討もできるため、自分に合った会社を見つけることができる。

☎ 03-6823-2268

✉ info@hags-ec.com

現場・
施工管理系アンドパッド
ANDPAD

ANDPAD

ANDPAD

現場の効率化から
経営改善までを一元管理

現場の効率化から経営改善までを一元管理できる施工管理システム。写真・資料管理、日報、工程表、横断工程表（稼働管理）、チャット、引合粗利管理、検査報告、社内タスク管理、施主報告など豊富な機能を搭載。直感的で使いやすさにこだわった開発と導入・活用への徹底したサポートで、利用社数17.3万社、ユーザー数44.7万人超。国土交通省のNETIS（新技術情報提供システム）にも登録済。

☎ 03-6831-4551

✉ info@andpad.jp

ビジネス・プロセスマネージャー
BPM —プロジェクト管理—

CRM

作業の見える化と業務の標準化を
実現し抜け漏れを撲滅

作業の見える化と業務の標準化を
実現し抜け漏れを撲滅

担当者によって仕事の進め方がバラバラ、仕事の精度が異なる、管理者が業務の進捗状況を把握できていない、などの問題を解決。同時に何件もの案件の進捗管理も可能に。業務フローごとに作業をリスト化し共有することで、作業の見える化と業務の標準化が実現。リストを元に仕事を進めることで抜け・漏れ・忘れを撲滅。

☎ 03-6721-5057

✉ info@buildcrm.com

工務店DX化の重要性と実践手法

建匠の事例&ナック サポート室の戦略を解析



株式会社建匠
代表取締役
西村 龍雄 氏



株式会社ナック サポート部 (左から) 宗像 氏、荒川 氏、角 氏、榊原 氏、加藤 氏

西村社長(以下、敬称略)は年間どのくらいのお仕事をされているのでしょうか?

西村:今は高知県内に年間で110棟、またそれ以外の地域でも兵庫を中心に20棟程度の家づくりをさせていただいています。

凄いですね!高知県で110棟というと、どんな感じなのでしょう?

西村:高知県の人口が約65万人、1年間に建てられる家が1200棟^(※1)なので、おかげさまで、年間で高知県に建つ住宅の約10棟に1棟を手掛けています。

ありがとうございます。それでその販売ノウハウや経営のコンセプトを、ナックさんのサービスを通じて全国の工務店へ提供しているということなのですね。ちなみに、今後の方向性などはいかがでしょう?

西村:はい。建匠では、毎年、協力して支えてくださっている金融機関の方や業者さんに向け、今後の方向性を示す「経営戦略発表会」というものを開催しています。その中で、これからの目玉施

策の一つとして「DX推進」を掲げました。住宅業界は遅れていると言われる分野ですが、当社は商圏の広さに対してスタッフが少なく、マンパワーに頼ることができないということもあり、これから拡大発展するためには、DX化が不可欠と考えています。

当社でも、チラシをSNSに置き換えるといったDXからはじまり、今では、現場に足を運ぶ回数を減らすことを目的として、360度カメラを使った社内から遠隔で検査できる体制作り、ほかにもデータ保存場所を社内サーバーからクラウド上に移行や現場管理アプリの活用、スケジュール管理などはグループウェア共有、顧客属性の集計などといった単純作業はRPAを活用といったように、あらゆるシーンでDX化を推進しています。

ありがとうございます。多岐にわたってDXをフル活用しているのですね!ちなみに、DX推進を専門で行っている部署はあるのですか?

西村:特に部署は設定しておらず、みんなアイデアやツールを持ち寄りますね!今のところ、一番持ってくるのは私

なのですが(笑)

さすがですね(笑)社長自らがネタを持ってくるスタンスは、私たちも見習いたいです。これだけ推し進められる秘訣は何でしょう?

西村:新しいものは、会社の中に定着しにくいこともあります。でも絶対に「これが役に立つもの」という強い意志をもって使い続けることです。

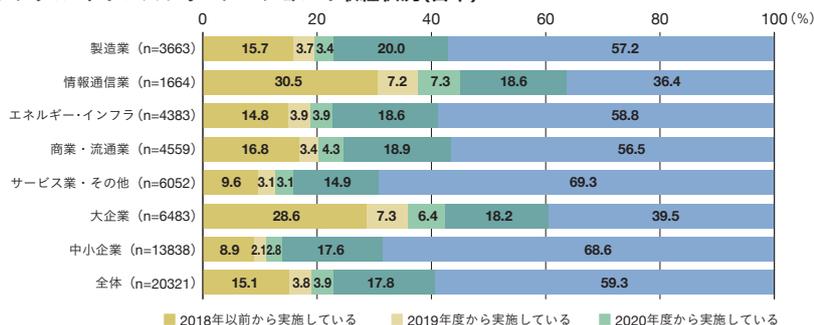
住宅業界は、他の業界と比べDX化が遅れているとも言われているので、これからはいっそう強い気持ちで取り組むことが重要ですね。

確かに住宅業界では顧客管理や施工管理といった「管理業務」だけでなく、「プロモーション」においても、以前のような折込チラシやポスティングチラシなどから、SNSなどのオンラインによるものが主流となってきましたね。ナックさんの無料会員制度「D-mot」にはDX化を推進するツールが公開されていると伺っていますが、最近はナックサポート室でもそのような相談は多いでしょうか?

宗像:はい。無料会員制度「D-mot」の中には、【クラウド型業務管理システム】【SNS分析ツール】【HP作成ツール】【メタバース展示場】【オンライン住宅ローンマッチング】といったように、ダイレクトにDX化を推進するツールは多く含まれます。

特に最近はスマホで見ることのできるSNS利用が一気に増加したため、SNSを用いたデジタルプロモーションに関する相談は多いです。最近のお客様は、家にかかわらず、買い物をする際に、SNSをチェックしてから購入を検討する傾向にありますからね。

デジタル・トランスフォーメーションの取組状況(日本)



(出典)総務省(2021)「デジタル・トランスフォーメーションによる経済へのインパクトに関する調査研究」

西村: サポート部の皆さんも買い物するときなんかはそうですか？

荒川: 私は趣味でよく旅行に行くのですが、HPを見る前に、必ずSNSをチェックしますね。その会社の雰囲気を感じたいんです。

西村: そうなんですな〜。ちなみに、みなさんはどのSNSを使いますか？

榎原: 私は、口コミを見たりするときは「X (Twitter)」を見ます。匿名なので本音が書かれているのかなあと思っています。

加藤: 逆に「Facebook」は、実名登録なので、実際の友人知人とつながる用…としての使用くらいですね。

角: 何かを買ったりするときは、私は断然「Instagram」を使います。買うもののイメージがすごく伝わるんです。

ぜひもう少し、SNSやInstagramについて聞かせてください。Instagramが、最もイメージが伝わりやすいと感じるのはどうしてなのでしょう？

宗像: 私たちも工務店の方にお伝えするのですが、Instagramって他のSNSと比べ、画像による訴求効果が高いんです。なので、外観や内観、家具といったビジュアルで訴えかけることの多い住宅との親和性が非常に高く、集客やブランディングでも相性が良いと考えています。建匠さんでも、Instagramは多く活用していますよね。

西村: ええ。うちはそれもあって、アウトドアリビングやジャグジーバスといった「ビジュアル」に訴えかけるモデルハウスを作り、積極的にInstagramにもアップしています。



荒川: 分かります！よくアップされているリゾート感満載の建物ですよ！サポート部が運営するSNSサポートサービスで、会員様から頂戴する声でも、あの写真の人気は絶大です。

榎原: 雰囲気とマッチするような、テキストを入れることなんかも、訴求力を高めるコツですね。



そんなに違うのでしょうか？

角: はい。例えば、白黒を基調とした家の外観写真に、ショッキングピンクでテキストを被せてしまったら、見る人に「違和感」を与えてしまいます。

加藤: 他にも、あまりに文字が見えにくすぎたりしても効果はダウンしてしまいますよね。

西村: そうですね。SNSを使った戦略としては、「自社のイメージを強インパクトで伝えること」が第一だと思います。なので、記事も含め、見やすさ・読みやすさを意識した簡潔な投稿がポイントですね。とはいえ、どうしても自分自身でやろうとすると、色々意識しすぎてしまい、ズレていってしまうことが多々あるのですが(笑)



建匠様の事例も含め色々ありがとうございます。今後の住宅業界ではDXの活用によるコストの圧縮だけでなく、オンラインでのプロモーション、しかもスマホのように持ち歩き出来る媒体で、ということが重要になってきますね。

西村: これからの時代、売上高と併せ利益も拡大しなければなりません。業績を向上させつつ、販管費も抑えなければなりません。そう考えると、DXとともに、「社内ですべき仕事」「アウトソーシングすべき仕事」の区分けを考えなければならないと思うのです。そうすることで、今日お話に出たInstagramのような、オンラインプロモーションは何倍もの効果を発揮するのではないかと考えます。

私もナックさんから発売している建匠ノウハウ商品を通じ、サポート部の方々と一緒に研修やお仕事させていただく機会がありますが、SNSの相談・代行や、HP作成の相談・一部代行を合わせると、月に数百件の作成業務に携わっているそうなので、1社では叶わない経験値や工務店情報が集約されているのだなと感じます。

DXは、アウトソーシングと併せ、「最も効果が高く」「最も手間を減らせる」方法で活用していくことが、これからの住宅業界で成功するカギだと思います。

宗像: ですから、私たちがサポートの一環で投稿を代行する際も、「読む人にとってインパクトの強い、訴求力の高いものとなっているか」を第一に考えています。SNSだけでなく、HPの記事を作成する際も、この考え方は非常に重要です。

(※1 高知県HP 住宅着工統計参照)

本日お話をいただいたサポート部のある、株式会社ナック 建築コンサルティングカンパニーでは、住宅会社を支援する無料会員制サービス「D-mot」を提供しています。無料でご利用いただけるコンテンツの一つとして、「SNS サポートサービス」や「HP 作成キット」などもアップしています。

D-mot



登録はこちら▶

スキャナット
Scanat

nat



**空間記録業務を一人で完結
人手不足解消にも大きな効果**

「Scanat」は、iPhone Pro や iPad Pro に搭載されたLiDARセンサーを活用し、空間記録業務の効率化や業務の標準化、人手不足の解消に大きな効果があることが証明されている。「Scanat」を活用することにより、今までの空間記録に伴う作業を一人で完結することが可能。2024年5月にブラウザ版がリリース。

☎ 050-1780-7133

✉ contact@natincs.com

プラス
現場Plus

ダイテック



**建設現場に必要な機能が
すべてそろった施工管理アプリ**

利用会社数6万社突破の手頃な価格とかんたん操作で大好評の施工管理アプリ。チャット、写真、図面、工程表などの建設現場に必要な機能がすべてそろって、月額わずか1万円(税別)/60ID。どの機能もシンプルな操作性で、スマホに不慣れな人でもすぐに使いこなせる。

☎ 03-5762-8660

✉ info-hanjo@komuten.jp

現場見守る君 スタンダード

吉田東光



**バックアップ機能充実
現場監視カメラ**

工事不要・簡単取付ですぐに使用できる現場監視カメラ。カメラにSIMカードを内蔵し、携帯電話の電波の届くエリアであればリアルタイム映像をスマホなどで閲覧可能。SDカードやクラウドなどによるバックアップ機能で過去の映像や写真の確認も可能。短期間のレンタルもでき、建設現場・大規模修繕などスポット的に監視したい場所にオススメ。遠隔で現場確認を行い、時間・コスト・人件費の削減ができる。

☎ 048-714-0403

✉ contact@yosidatoko.co.jp

現場見守る君 PRO

吉田東光



**人感センサーライト付き
防犯機能を強化**

工事不要・簡単取付ですぐに使用できる現場監視カメラ。人感センサーライト付きで、動きを検知するとライトが点灯。防犯機能の強化を求めるユーザー向けモデル。

☎ 048-714-0403

✉ contact@yosidatoko.co.jp

**現場見守る君
ブラウザマークII**

吉田東光



**通信量無制限で
美しい映像がリアルタイムで**

工事不要・簡単取付ですぐに使用できる現場監視カメラ。無制限SIMを装備し、通信量制限なしで美しい映像をリアルタイムで確認できる。アプリ不要で各ブラウザの視聴が可能。セキュリティが求められる利用者にも安心。夜間や暗所でも赤外線投光器でクリアな映像を確保する。

☎ 048-714-0403

✉ contact@yosidatoko.co.jp

現場見守る君 ハンディワイド

吉田東光



**120°の広角レンズ採用
定点監視に理想的**

工事不要・簡単取付ですぐに使用できる現場監視カメラ。広角レンズ採用で120°の広範囲を一望、定点監視に理想的なモデル。

☎ 048-714-0403

✉ contact@yosidatoko.co.jp

現場見守る君 インドア

吉田東光



軽量・コンパクトな屋内用
移動も手軽で簡単

工事不要・簡単取付ですぐに使用できる現場監視カメラ。軽量・コンパクトな屋内用、即使用可能で移動も手軽。水平180°・垂直90°の可動レンズで広範囲をカバーし、圧迫感なくさまざまなシーンにフィットするモデル。

☎ 048-714-0403

✉ contact@yosidatoko.co.jp

経営・社内系

CAD 連動見積システム

カンタン見積計画

安心計画



見積しながらリアルタイムに
原価管理・利益算出

「Walk in home Plus」の積算データを利用し、CADデータ連動ならではのスピード見積が可能。見積しながらリアルタイムに原価管理・利益算出ができる他、自社マスターのカスタマイズ可、自社見積業務の時短と社内標準化に効果を発揮。新築・リフォーム対応。「Walk in home」との併用でさらに業務効率をアップ。

☎ 092-475-1751

✉ contact@anshin.co.jp

アンドパッド
ANDPAD 受発注

ANDPAD



建設業界の
受発注業務をカンタンに

建設・建築業界ならではの商習慣や、建設業法、下請法、改正電子帳簿保存法に対応した電子受発注システム（タイムスタンプ、電子署名付与機能を搭載）。発注から請求処理までをデジタルで一元化し、スマホやタブレットから確認・編集・承認などが可能で、時間・場所に縛られずに対応できる。法対応と業務効率化を同時に実現。インボイス制度へも完全対応。

☎ 03-6831-4551

✉ info@andpad.jp

アンドパッド
ANDPAD 引合粗利管理

ANDPAD



顧客管理からアフターまで
オールインワンで一元管理

顧客情報、実行予算、入出金、原価・粗利などのデータを一元化。二重入力の解消や部門間のスムーズな情報引継ぎを支援し、施工管理や会計ソフトなど周辺サービスとの連携も可能。All in ONEで経営に必要な情報を管理でき、リアルタイムで経営指標や業務指標の見える化と改善を実現。ANDPAD受発注との連携で、見積～実行予算～発注業務を一気通貫。さらなる業務効率化を支援。

☎ 03-6831-4551

✉ info@andpad.jp

建設業向け業務効率化システム

AnyONE

エニワン



3400社以上の導入実績
粗利もしっかり管理・確保

3400社以上の工務店やリフォーム会社・建築会社が利用。顧客情報から見積り、工程表、実行予算、発注、支払、アフターまで一元管理できるITツール。基幹システムであるAnyONEの導入で住宅建築・工事のあらゆる業務が効率化し、しっかり粗利を管理・確保することができる。

☎ 06-6265-2311

✉ info@any-one.jp

営業系

設計・プランニング系

現場・施工管理系

経営・社内系

住宅マネージャー

KSK



土地仕入れからアフターまで一元化する総合管理システム

住宅・建設業向けの統合管理システム。1つのシステムで土地仕入れから事業計画、顧客、予算発注、工程、原価、アフターなど、あらゆる業務の情報を一元管理できる。各部門が別々のシステムを使うのではなく、「住宅マネージャー」上に全ての情報を集約。業務の効率化はもちろん、データを蓄積・分析することで、自社の抱える課題を顕在化し、迅速な業務改善に結び付ける。

☎ 042-378-1189

✉ jtm-sales@ksk.co.jp

建て役者

システムサポート



部門を超えた情報共有商談や工事進捗が見える化

商談からアフターまで、建築業界に必要な情報を集約し活用できる一元管理システム。業務の流れに沿って情報をつなぎ、部門を超えた情報共有で商談や工事の状況が見える化。手遅れを未然に防ぎ、業務効率化をサポートする。業務に合わせてカスタマイズ可能。電帳法に対応した「電子受発注」が広がりを見せる。20周年記念で特別割引実施中。

☎ 076-265-5081

✉ support-tateyakusha@sts-inc.co.jp

スームズレビュー SUMUS REVIEW

SUMUS



300社超のサンプルをもとに独自の人事評価制度を構築

工務店に特化した人事評価クラウドシステム。300社を超えるサンプルから業界平均給与をデータベース化。他社の給与を把握しながら、導入企業独自の給与・等級制度を設計し、事業計画に沿った人事評価制度を構築する。「評価基準が明確になったことで、従業員のモチベーションが向上した」、「コスト削減や離職率低下につながった」といった喜びの声が多くある。

☎ 080-4331-0356

✉ t_honda@tlusnoc.com

注文分譲クラウドDX

ダイテック

注文分譲クラウドDX



部分最適ではない業務全体の仕組みを変革

顧客管理から見積り、電子受発注、引き渡し後の点検予定まで一元管理できるクラウド型基幹システム。本製品に合わせて業務フローを見直し、標準化することで、残業時間の削減やペーパーレス化、収益の改善につながる。またパートナー企業との連携によって、システム導入時にありがちな部分最適を避け、業務全体の仕組みを変革できる点も魅力。

☎ 03-5762-8660

✉ info-hanjo@komuten.jp

受発注Plus

ダイテック

受発注Plus



低コストで導入可能ペーパーレス、時間短縮に

電子受発注に必要な機能に絞った【低コスト】【かんたん操作】【タイムスタンプ不要】の電子受発注システム。受発注にかかわる紙やコスト、時間を削減しつつ、発注先とのやり取りを円滑化する。タイムスタンプが要らない方法で「改正電子帳簿保存法」に対応しているため、取引ごとに費用が発生せず安心。初めての電子受発注導入にもおすすめ。

☎ 03-5762-8660

✉ info-hanjo@komuten.jp

棟梁の目利き

TOPPAN



「探す～依頼する」がワンストップで完了

工務店、販売店の業務において、建材・住宅設備を「探す～依頼する」がワンストップで完了するDXアプリ。国内主要メーカーの建材・住宅設備カタログの掲載商品を細かな単位までデータ分解してあるので、数回タップするだけで商品を選択、品番、上代価格が自動的に生成され、現場リストに登録できる。工務店から販売店への見積り依頼や、顧客への簡易提案書により、大幅な業務改善が期待できる。

☎ 03-3835-6820

✉ support.t-mekiki@toppan.co.jp

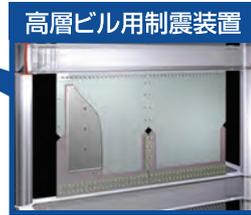
超制震住宅
住宅まるごとダンパー



家をまるごとダンパーにする
制震テープ®

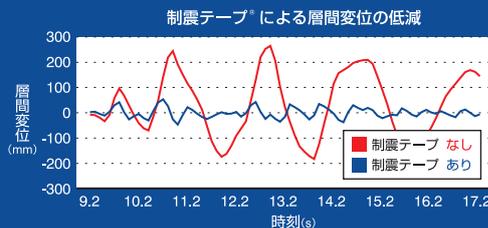
高層ビルの制震装置を木造住宅へ

制震テープ®は、高層ビルの制震装置に用いられる粘弾性体を、木造住宅向けに両面テープ状に加工したものです。建物全体の柱・梁と面材の間に分散配置し「家をまるごとダンパー」にします。



揺れ幅 80% 低減

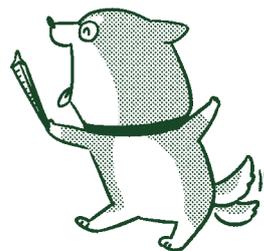
兵庫県南部地震を何度も与えた振動実験において、制震テープ®を使用した建物の揺れが最大80%低減されることを確認しています。バランス良く配置された制震テープ®によって、建物そのものが制震装置として機能します。



兵庫県南部地震を再現した振動実験



全編は新建ハウジングの 定期購読でご覧いただけます!



工務店が“いま知りたい”情報をどこよりも「深く」「速く」「タイムリー」に、タブロイド、書籍、マガジン、デジタル、動画や限定セミナーなど、最適な形でお届けしています。

新建ハウジング有料会員(定期購読)のご案内

新聞
(タブロイド)
発行日

毎月 **10・20・30**日

※4月30日号/12月30日号は休刊

マガジン/
別冊・ムック
発行日

毎月 **30**日

発行号が変更になる場合あり

会員制
サービス
(有料会員)

過去3年分の紙面や各種付録動画などを
オンラインで閲覧できるサービスです

年間 **¥29,040**円(税込)

【タブロイド 34部】+【マガジン12冊】をすべて含んだ価格です。

問合せ先



0120-47-4341

読者サービス課

✉ rss@shinkenpress.co.jp

新建ハウジング

